



わが家の防災電話帳



火事・救助

119

ライフライン関連

市役所水道課	0568-62-9300
--------	--------------

■電気

中部電力パワーグリッド (小牧営業所)	0120-929-580

■ガス

犬山ガス	0568-61-0002

■電話

NTT西日本	局番なし 116 携帯から 0800-200-0116
NTTドコモ インフォメーションセンター	0120-800-000 ドコモ携帯から 151
KDDI auお客様センター	0077-7-111 au携帯から 157
ソフトバンク お客様センター	0800-919-0157 ソフトバンク携帯から 157
楽天モバイルお客様サポート	0800-600-0700

■インターネット接続

--	--

■ケーブルテレビ

CCNetコールセンター	0120-441-061
--------------	--------------

NTT災害用伝言ダイヤル

【171】にダイヤルし、
ガイダンスにしたがって伝言の登録、
再生をしてください。

伝言を登録する

伝言を聞く

犬山市役所 0568-61-1800 (代表)



警察

110

急病・火災

休日急病診療所	0568-62-8100
救急医療情報センター	0568-81-1133
小児救急電話相談	#8000
火災情報テレホンサービス	0568-62-9100
タクシー会社	

わが家のかかりつけ病院・介護関係

保険会社(火災保険・生命保険)

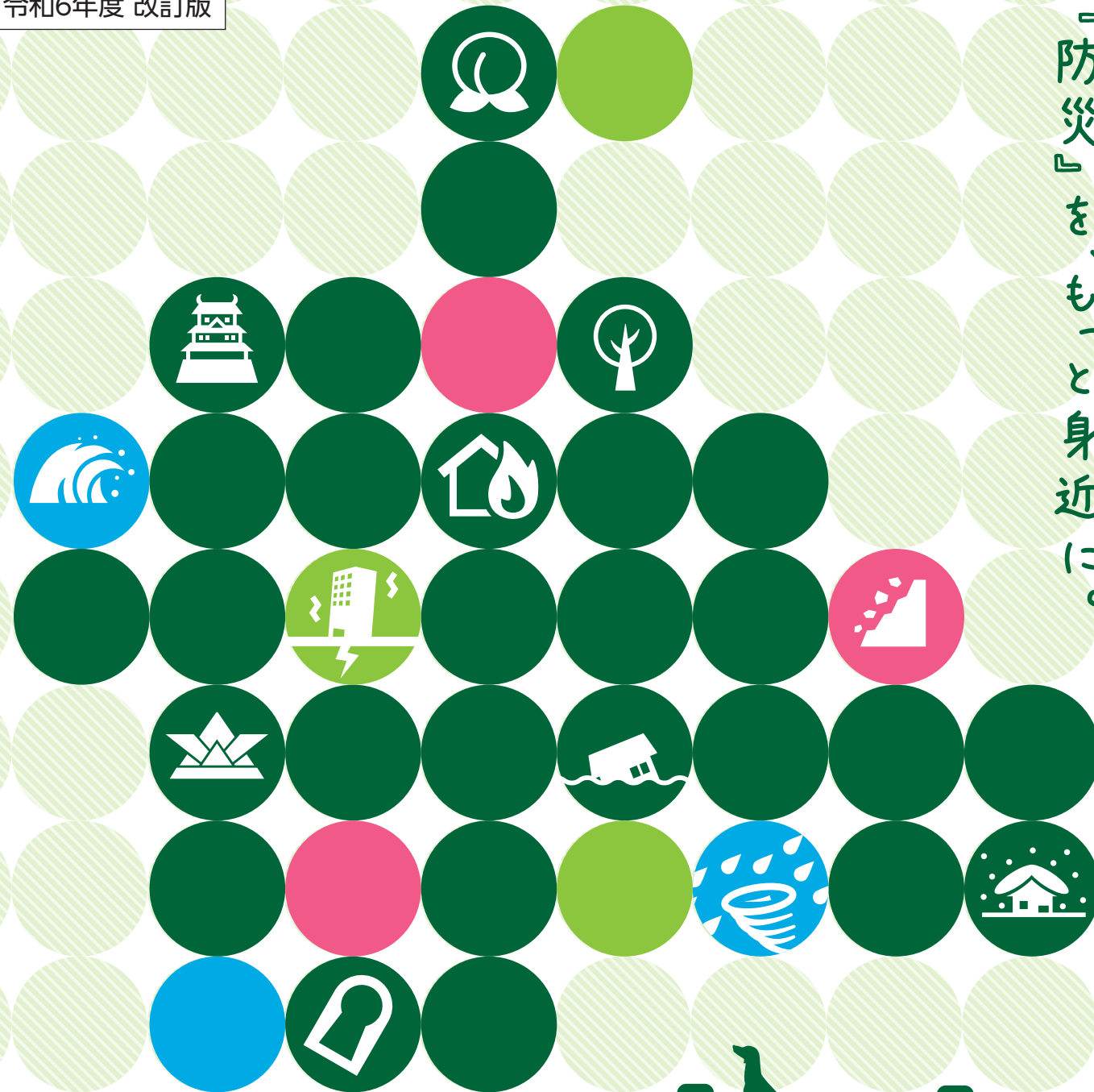
修理・修繕(自動車、電器、工務店など)

【171】にダイヤル → 録音の場合【1】
→ (市外局番) 〇〇〇—□□□□

【171】にダイヤル → 再生の場合【2】
→ (市外局番) 〇〇〇—□□□□

令和6年度 改訂版

『防災』をもっと身近に。



犬山防災

INUYAMA
BOUSAI
HANDBOOK

犬山防災
ハンドブック

犬山防災ハンドブックを9カ国語に翻訳して
ご覧いただけます。

If you download this app, you can read
"INUYAMA BOUSAI HANDBOOK" in 9 languages.
英語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)・韓国語・タイ語・ベトナム語・
インドネシア語・ポルトガル語・スペイン語



スマホアプリ「Catalog Pocket」(無料)でも
閲覧することができます。
App StoreやGoogle Playなど
からダウンロードしてください。

二次元コードから
お入りください

犬山防災ハンドブック

発行／ 犬山市役所市民部防災交通課

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36

TEL.0568-44-0346



スマホ・タブレットで
いつでも情報を確認!



INUYAMA BOUSAI HANDBOOK

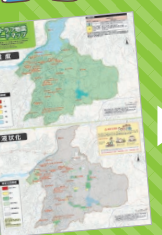
犬山防災
ハンドブック

あなたの住むまち、
自宅や学校、職場、駅。
災害ごとの危険性や
避難する場所を地図で
把握しましょう。



南海トラフ地震ハザードマップ

南海トラフ地震で予想される
犬山市の震度と液状化の分布
を表示しています。



外水ハザードマップ(河川による被害)

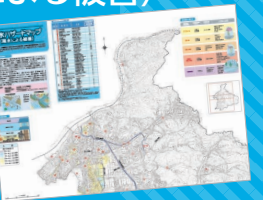
犬山市を流れる木曽川と郷瀬川・新郷
瀬川、新川流域の河川で洪水が発生した
場合に、浸水が想定される地域と水深を
表示しています。

【別表】指定緊急避難場所・指定避難所一覧表



内水ハザードマップ(雨水による被害)

犬山市に降った雨で排水路などが
はん濫した場合に、浸水が想定される
地域と水深を表示しています。



土砂災害ハザードマップ

地震や風水害によって土砂災害が発生する
危険性の高い地域を、犬山市を東と西に
分けて表示しています。



入鹿池ハザードマップ

入鹿池が満水の時に、堤体が決壊し
全量が流出した場合に、浸水が想定
される地域と水深を表示しています。



いま、南海トラフ地震が発生したら。
ものすごい豪雨が降り続き、家に浸水の危機が迫ってきたら。
あなたは、どんな行動がとれますか？

日ごろの備えで、万一の被災時に、 「いのちを守る」行動を。

防災の主役は、個人・家族であり、その集合体となる地域社会。
地域で支え合うためにも、まずは「自助」から取り組みましょう。



このガイドブックで、できること

1

災害の知識を 身につける

「地震」「風水害」「土砂災害」
犬山市で想定される、3つの自然
災害ごとに情報をまとめました。

2

避難のタイミングを 見きわめる

3つの自然災害ごとに、避難すべき
タイミングの見きわめと避難方法
を紹介。

3

5つのマップを 活用しよう

犬山市内の、南海トラフ地震ハザードマップ、
外水ハザードマップ、内水ハザードマップ、
土砂災害ハザードマップ、入鹿池ハザード
マップをセットしました。

4

家族、地域で 日ごろの準備

備蓄品、非常用持出品をリストで
チェック。避難する場所へのルート図、
緊急連絡先一覧表をつくりましょう。



女性視点の防災アイデアなどを ナビゲート

このハンドブックでは、犬山市の女性職員や市内在住の女性
の皆さんに実施したアンケートをもとに、災害への備えや避難
生活などに役立つ女性視点のアイデアを盛り込んでいます。

INDEX

目次

- 2 このガイドブックでできること
- 3 犬山市で想定される自然災害
- 4 「いのちを守る」行動の流れ
- 5 犬山市の災害用情報サービス
- 6 そのほかの災害用情報サービス

地震

- 7 南海トラフ地震が起こった場合
- 9 危険のチェックと心構え

11 避難の準備・避難行動

風水害

- 13 台風や集中豪雨による災害
- 15 落雷・竜巻による災害
- 17 危険のチェックと心構え

19 逃げ時判断・避難行動

土砂災害

- 21 土砂による災害

23 逃げ時判断・避難行動

- 23 今後の防災情報について

避難と避難生活

- 25 避難するところ
- 27 避難所生活マニュアル①
- 29 避難所生活マニュアル②
- 31 外国人への対応
- 32 子ども・女性の防災対策
- 33 避難はペットと一緒に
- 35 在宅避難
- 37 要配慮者利用施設一覧
- 38 災害用情報サービス一覧

日ごろから準備したいこと

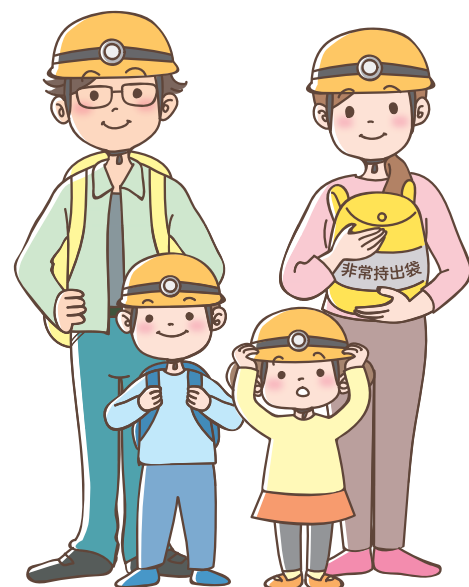
- 39 備蓄品リスト
- 40 非常用持出品リスト
- 41 大雨洪水災害避難カード
- 42 避難マップをつくる

わが家の防災電話帳

『防災』を、もっと身近に。

犬山防災

INUYAMA
BOUSAI♥
HANDBOOK 犬山防災
ハンドブック



地震や台風、集中豪雨による風水害、土砂災害。
いつ、どこで起きるかわからない自然災害に対して、
あなたは備えができていますか。
どんな場合でも「いのちを守る」行動ができる。
この災害時の基本を、すべての犬山市民が
身につけることができる防災ハンドブックが『犬山防災』です。
犬山市の地域特性を考慮して、
起こり得る被害を想定し、
準備すべきこと、
避難についてまとめています。

必ずしも「避難所へ行く」ことが、正しい避難とは限りません。
自宅の状況によっては、自宅に留まることも避難行動の一つです。
あなたにとっての適切な避難はどのようなものか、
「いのちを守る」行動を確認してみましょう。

犬山市で想定される自然災害



犬山市では、南海トラフ地震(東海地震、東南海地震、南海地震)、未知なる断層による直下型地震の2つの地震の発生が想定されています。南海トラフ地震では、最大震度が6弱と想定されており、日ごろからの備えが必要です。

詳しくは →P7~12



台風をはじめ、台風の接近に伴って梅雨前線や秋雨前線が刺激され、局地的な集中豪雨が発生し、河川のはん濫や洪水につながる危険があります。また、ゲリラ豪雨など短時間での豪雨は、急な冠水に注意が必要です。

詳しくは →P13~20

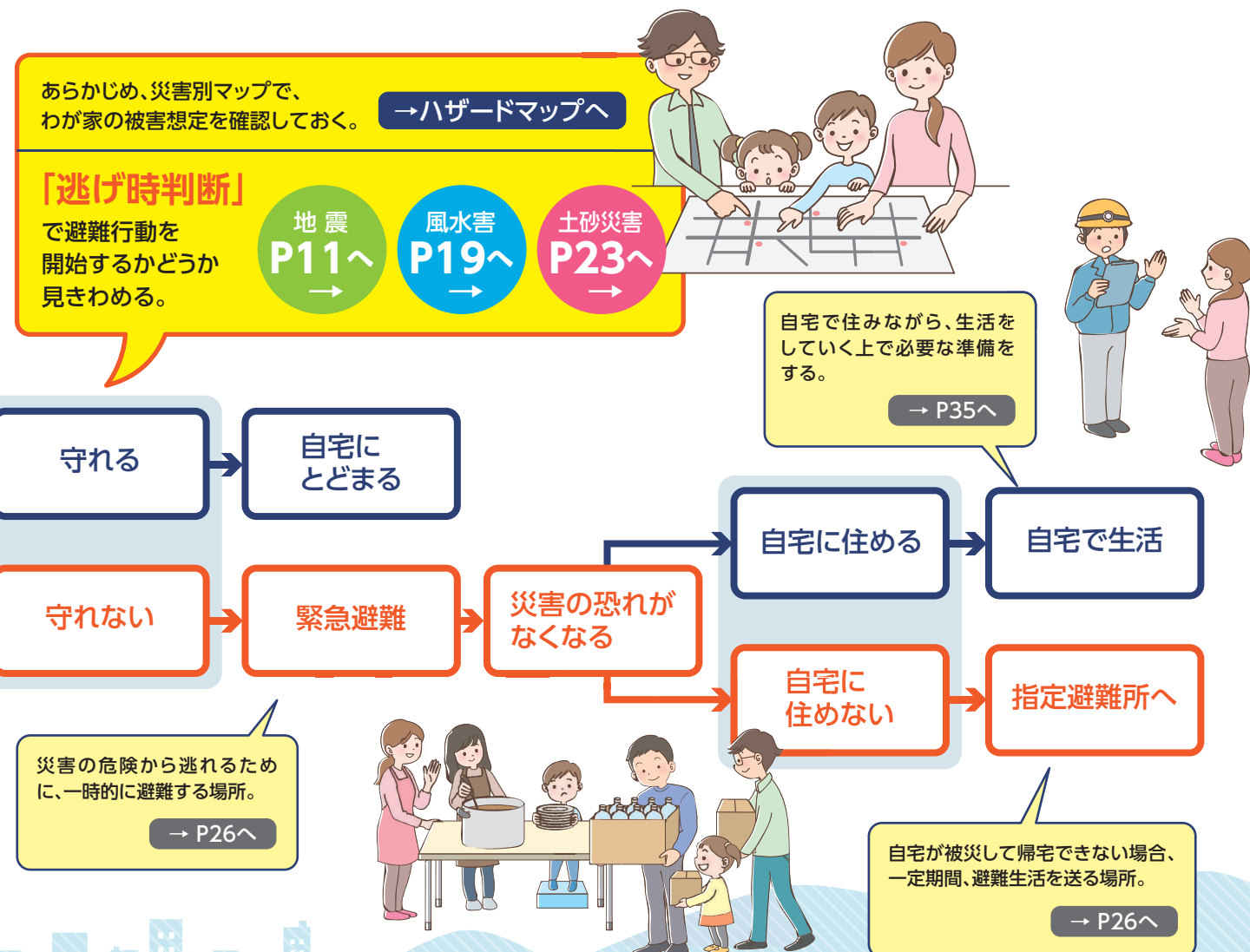


犬山市は、北は木曽川に接し、西から南にかけては濃尾平野の一部、東はなだらかな丘陵地から低い山地という地形です。山沿いでは長雨や集中豪雨による土砂災害のおそれがあり、注意が必要です。

詳しくは →P21~24

「いのちを守る」行動の流れ

あらゆる災害において、いのちを落したり、重大な被害にあったりする要因の多くが「避難の判断」にあります。『犬山防災』では、災害時にいのちを守るために、避難の方法、避難を始めるタイミングの見きわめを重視しています。だれもが想像しないことが起きたときに、より正しい判断ができるよう災害別にページを設けて解説しています。



その他の災害

原子力災害

犬山市は、最寄りの敦賀原子力発電所でも93km離れており、原子力災害の危険性は比較的低い地域です。しかし、東日本大震災の二次災害であったように、原発事故は甚大で深刻な災害を引き起こします。万が一に備え、正しい知識を得る必要があります。

武力攻撃・テロなど

武力攻撃やテロ、他国からの弾道ミサイルなど、自然災害以外にいのちを脅かす事態があります。いざというときの行動を知っておくとともに、これらの事態に対しても、自然災害に備える非常用持出品や備蓄品は役に立ちますので、備えておきましょう。

津波災害

南海トラフ地震によっても発生が予測されている津波災害。犬山市には影響はありませんが、津波による被害の恐れのある地域に出向いていた時には、高台に逃げるなどの避難が必要です。外出先でも避難場所等を考えましょう。

災害時は、「正しい情報」が生命線。 信頼できる、最新の情報を手に入れる。

犬山市の災害用情報サービス



家族みんなのスマホ・携帯電話に、 犬山市「あんしんメール」を登録

災害時の緊急情報を市民にメールで知らせる、登録制のメール配信システム。

配信内容

- 防災情報
- 気象情報
- 避難指示等災害時緊急情報
- 避難所の開設状況
- 火災情報
- 竜巻注意情報・目撃情報
- など

登録方法

①空メールを送る

スマホ、カメラ付き携帯電話の場合

二次元コードを読み取って、「空メール送信用」サイトからメールを送信



二次元コードを読み取れない場合

以下のアドレス宛に空メール
(件名・本文を記入しないメール)を送信

t-inuyama-city@sg-p.jp



気象警戒情報や
避難情報は
『色付きメール』で
情報を配信!



②登録案内にしたがって 登録する

折り返し送信したスマホや携帯電話に「登録案内メール」が返信されます。
案内にしたがって登録してください。

うまく登録できない場合は

問い合わせ (無料)

0120-670-970

※システム委託業者のコールセンターにつながります。

自動で電話に架電して、音声でお知らせ! 犬山市「あんしん電話」

大雨や台風時に、避難情報などを登録された電話に向けて、
機械が自動的に電話し、音声でお知らせする情報発信システム。

対象 町会長、土砂災害警戒区域にお住まいの方、
視覚障がいをお持ちの方など

配信内容 避難情報(高齢者等避難、避難指示)

避難所開設情報

登録方法 防災交通課へ登録申請書を提出、
またはご連絡ください

登録費用・利用料 無料

問い合わせ 0568-44-0346 防災交通課 防災担当

コミュニティFMで 災害時の緊急情報を放送

災害時の避難情報や避難所開設情報などの緊急情報を、コ
ミュニティFM「United North(ユナイテッド・ノース)84.2
愛知北エフエム放送」を通じて放送します。

放送内容 避難情報 避難所開設情報

Jアラート緊急情報

放送局 United North(ユナイテッド・ノース)84.2
社名:愛知北エフエム放送株式会社(犬山字西古券)
周波数:84.2MHz

配信方法 FMが受信できるお手持ちのラジオや、カーラジ
オで、United North(ユナイテッド・ノース 周波数 84.2MHz)を受
信している際、緊急放送を配信すると同時に、自動で放送されます。

犬山市の公式SNS



エックス

愛知県犬山市【公式】
犬山市の公式X(旧Twitter)
@inuyama_koho



Facebook

愛知県犬山市【公式】
https://www.facebook.com/
city.inuyama.kouhou.lg.jp/



犬山市の緊急災害情報を
配信しています。

その他の災害用情報サービス P38をご覧ください



NHKの データ放送をチェック!

オススメ

NHKの地上デジタル放送(データ放送)で、災害に関する最新の情報、
犬山市が発信する避難情報をご家庭のテレビで確認できます。

確認できる情報

- 警報・注意報の発表状況
- 台風関連情報
(予想進路など)
- 河川水位・雨量
- 避難情報の発令状況
- 開設している避難所
- 犬山市からのお知らせ

確認方法

1. テレビをつけて、
NHK(3チャンネル)に合わせる
2. リモコンの「d」ボタンを押し、
データ放送画面を表示
3. 「防災・生活情報」を選択し、
「決定」ボタンを押す
4. 「気象情報」「避難情報」「河川水位情報」など
確認したい項目を選び「決定」ボタンを押す
5. 表示された市町村から「犬山市」を
選択し「決定」ボタンを押す



気象庁のホームページを チェック!

パソコンやスマホなどインターネットに接続できる環境が
あれば、気象庁のホームページにアクセス。最新の気象情報、
台風情報をはじめ、雨雲の動きや降水・雷・竜巻の実況と予測
をレーダー画像で確認することができます。

確認できる情報

- 天気予報 ● アメダス(気温、雨、雪や風などの観測データ)
- 雨の様子(雨雲の動き/今後の動き) ● 今後の雨(降水短時間予報)
- レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻の現況と予測)
- 大雨・洪水警報の危険分布(危険度が高まっている場所を確認できる)
- 気象警報・注意報 ● 台風情報 ● 地震情報

[ホームページアドレス]

気象庁 <https://www.jma.go.jp/>



緊急速報「エリアメール」(NTTドコモ)緊急速報メール(au、ソフトバンク、楽天モバイル)

市内に滞在する方を対象に気象庁が配信する緊急地震速報や犬山市が配信する
災害・避難情報を配信する緊急速報メール配信サービスを行っています。

配信内容

- 気象庁

緊急地震速報

津波警報

気象等に関する特別警報

噴火に関する特別警報

- 各省庁、犬山市

避難指示

指定河川洪水予報

土砂災害警戒情報

国民保護情報(弾道ミサイル情報など)

受信方法

受信設定を
ONにする。



※メールアドレスおよび事前登録は不要です。
(通信料・月額使用料など費用の発生は
ありません。)

配信対象 犬山市の送信エリア内にいる、NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの対応機種携帯
電話利用者。通学・通勤および観光などで一時的に犬山市内にいる人にも緊急情報を提供します。

※機種によっては、携帯電話での受信設定が必要な場合や機能がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各携帯電話会社の
ホームページ等でご確認ください。



スマホのアプリを 活用して 情報を共有

外出先や停電時でも利用できるスマホ
は、災害時には貴重な情報源となりま
す。最新の情報を共有できるよう、家族
で同じアプリをダウンロードしておく
と安心です。

Yahoo! 防災速報

現在地や登録した地点の地震、豪雨、津波な
どの情報をプッシュ通知してくれます。



NHKニュース 防災アプリ

ニュースや天気予報をはじめ、災害・気象情報を
地図で確認できます。また、各地の災害情報や
避難情報も配信します。



犬山市のコミュニティFM United North 84.2

愛知北エフエム放送(United North 84.2)の
放送をスマートフォンやタブレット端末で聞くこ
とができます。



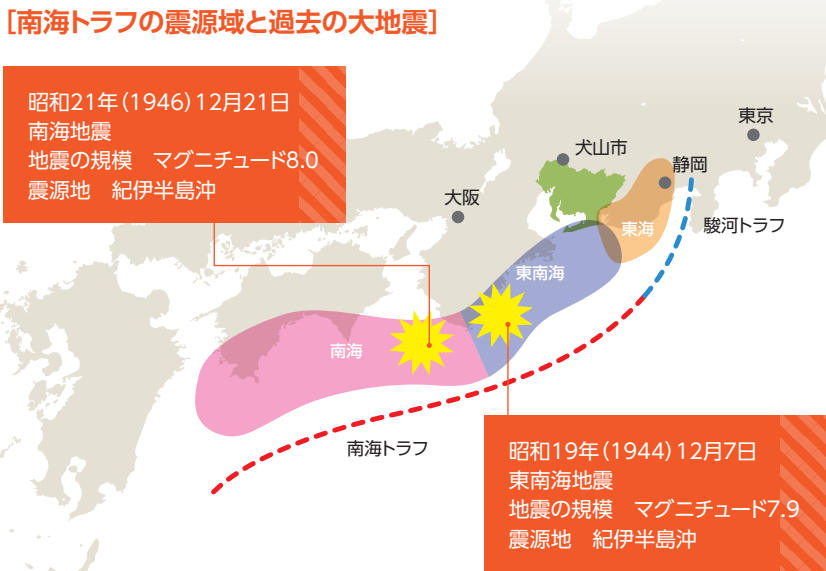


南海トラフ地震が起こった場合

静岡県の駿河湾から宮崎県の日向灘まで続く、深さ4,000mの海底にある海溝を「南海トラフ」といい、ここからのびるプレート境界面でマグニチュード8～9の地震が起こると予測されています。想定されている震源域によって、東から東海地震、東南海地震、南海地震と呼ばれ、その総称が「南海トラフ地震」です。

●南海トラフ地震

南海トラフ地震は、海のプレートが海溝で沈み込むときに巻き込んだ陸地のプレートが反発して跳ね上がる際に起こる地震（海溝型地震）で、巨大な地震と津波を引き起こしやすい特色があります。



●活断層で発生する内陸地震

海のプレートが陸のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤を歪ませ、そこが破壊されて起こる内陸地震。平成30年に発生した大阪北部地震や北海道胆振東部地震もこの種の地震で、海溝型に比べて規模は小さいものの、局地的に強い揺れを起こす特色があります。



▲地震による塀の倒壊(平成30年大阪府北部地震)
(出典:一般財団法人消防防災科学センター)



▲地震による道路の陥没(平成30年北海道胆振東部地震)
(出典:一般財団法人消防防災科学センター)

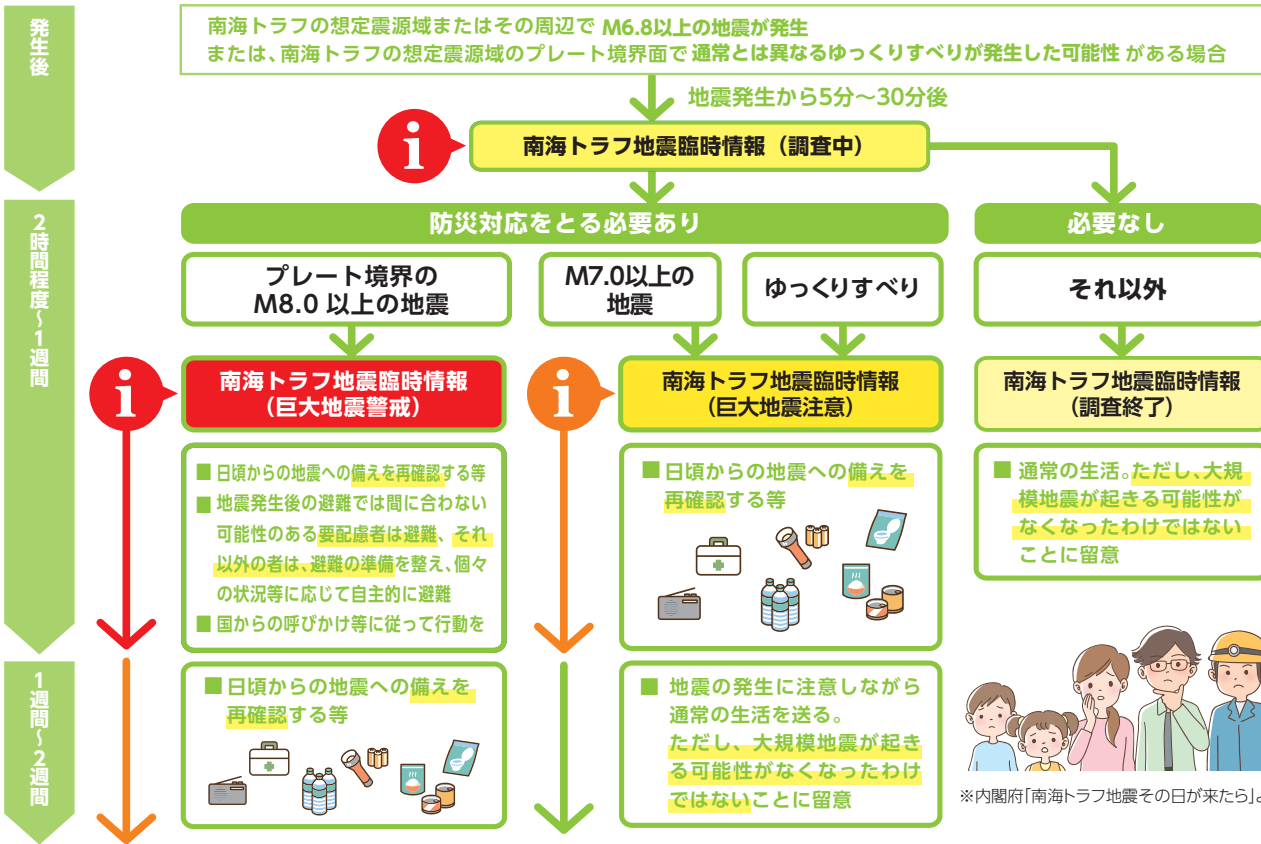
災害MEMO ▶ 平成30年以降に発生した主な被害地震

平成30年(2018)9月6日 平成30年北海道胆振東部地震 マグニチュード 6.7 震度 7	令和4年(2022)3月16日 令和4年福島県沖地震 マグニチュード 7.4 震度 6強	令和6年(2024)1月1日 令和6年能登半島地震 マグニチュード 7.6 震度 7
死者 43人	死者 4人	死者 241人
負傷者 782人	負傷者 247人	負傷者 1,299人
住家全壊 469棟	住家全壊 217棟	住家全壊 8,789棟
住家半壊 1,660棟	住家半壊 4,556棟	住家半壊 18,813棟
住家一部破損 13,849棟	住家一部破損 52,162棟	住家一部破損 83,154棟
【令和元年8月20日現在】	【令和4年11月18日現在】	【令和6年3月22日現在】

※気象庁ホームページ「日本付近で発生した主な被害地震(平成8年以降)」より

●南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震臨時情報は、以下の流れで発表されます。この情報が発表された場合は、連動して発生する後続地震から身を守るため、その後1週間から2週間程度は警戒措置(備蓄品の点検や家族会議の実施等)を取ったり、地震情報等に注意しましょう。



●犬山市の被害想定

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模が大きい5つの地震(宝永、安政南海、安政東海、昭和東南海、昭和南海)を重ね合わせたモデルから被害を想定します。
(愛知県 平成23～25年地震被害予測調査とりまとめ)

想定される被害

全壊・焼失数(冬夕18時発災) 揺れによるもの	約10棟	避難者数(冬夕18時発災) 1日後 約90人 1週間後 約3,600人 1カ月後 約90人
ライフライン機能支障(発災1日後:冬夕18時発災) 上水道の断水人口 下水道の機能支障人口 電力停電軒数 固定電話不通話回線数 携帯電話停波基地局率 LPガス機能支障世帯数	約65,000人 約800人 約36,000軒 約9,700回線 80% 約70世帯	帰宅困難者数(昼12時発災) 約7,400～9,200人 災害廃棄物等(冬夕18時発災) 約3,000トン



地震

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから準備したいこと

地震

危険のチェックと心構え

南海トラフ地震で想定されている地震では3分以上揺れが継続すると言われています。揺れている間、揺れが収まった後、パニックにならず、落ち着いて行動できるようにするためには、どんな場合も「いのちを守る」ことができるよう、とるべき行動を覚えておくことが大切です。 ※気象庁HP／震度・マグニチュード・地震情報について



家で

まわりの様子を見ながら、物や窓ガラスの破片が落ちてこない、家具などが転倒・移動してこない場所へ移動する。

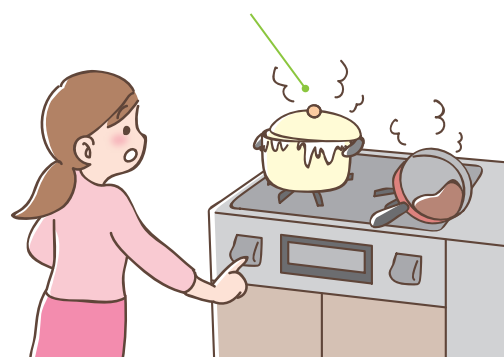


丈夫なテーブルの下に入る、または姿勢を低くし、クッションや雑誌などで頭部を保護。



テーブルの下へ逃げる!
地震の際、どこに移動するか子どもとあらかじめ決めておきましょう!

火を使っていたら、揺れが収まってから、あわてずに火の始末を。



いつでも避難できるように玄関ドア、部屋の窓やドアを開けて外部への避難ルートを確認。



足元から備えよう!
家の中は割れたガラスもあるので子どもにもスリッパやくつをはかせましょう。



エレベーターで

マンションやオフィスのエレベーターで揺れを感じたら、すべての階のボタンを押し、最初に止まった階で降りる。もし閉じ込められたら、インターフォンを押して(長押し)落ち着いて救助を待つ。



エレベーターは使わない!
揺れが収まって避難する場合は、必ず階段を使って避難を!



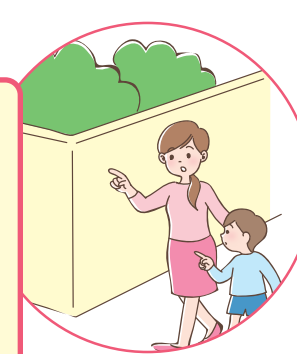
まちなか・通学路で



落下物から身を守り、建物の倒壊に注意しながら公園など広く安全な場所へ。



子どもと一緒にチェック!
子どもと一緒に通学路を歩いて、ブロック塀、古い家など危険箇所を確認し、地震のときはどうするべきかを話し合っておきましょう。



スーパーやコンビニではガラスびんや缶が落下したり、棚が倒れたり、ショーケースのガラスが割れたりするので、開けた場所、柱の近くに移動。



まずは落ち着いて!
買い物カゴを頭からかぶったり鞆などで頭部を守り、蛍光灯や商品の落下に備えて安全の確保を!



瓦の落下、ガラス破片の飛散に気をつけ建物から離れて歩く。またブロック塀は崩れることがあるので十分に気をつける。

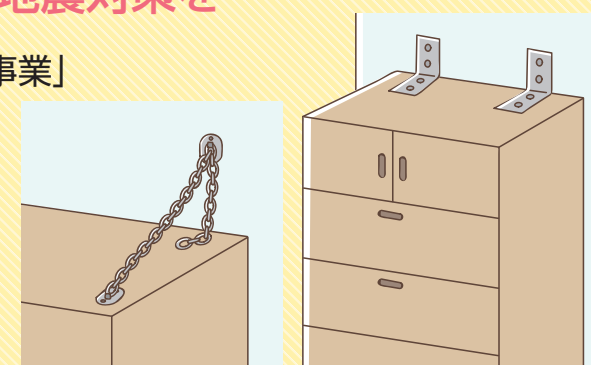
耐震化支援は → P35へ

⚠ 高齢者世帯にも安心の地震対策を

犬山市「家具等転倒防止器具取付事業」

対象／高齢者のみの世帯や介護保険の要介護・要支援の認定者がいる世帯など

内容／1世帯に4組まで、無料で家具の転倒防止器具の取付作業を行います。寝室、居間など普段の生活でよく使用する部屋の食器棚、タンス、冷蔵庫などが対象



問い合わせ

防災交通課
防災担当

0568-44-0346

地震

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから
準備したいこと



避難の準備・避難行動

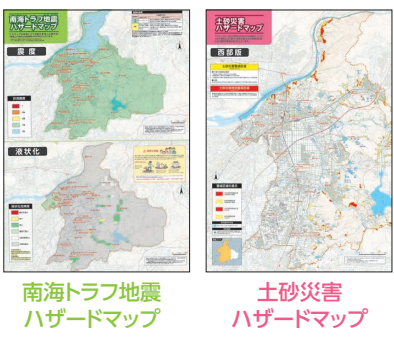
犬山市では、南海トラフ地震について震度と液状化のハザードマップを作成しています。住宅の耐震化や安全対策はもちろん、非常持出品など避難への備えも行い、家族がいのちを守る行動ができるよう準備しましょう。

自宅の事前対策 → 家具固定 P10 耐震化 P35

確認しておくこと

準備するもの

表紙ポケットの南海トラフ地震ハザードマップと土砂災害ハザードマップを出して広げます。



確認しておくこと

- ①震度予想
- ②液状化予想
- ③土砂災害の危険性
- ④ため池の位置

避難の前に

大きな地震の後には余震が起こることが多く、2016年の熊本地震のように2回目の地震が最初の地震以上に揺れることもあります。柱や壁のヒビや傾き、家の基礎のズレなど、少しでも建物に不安を感じたら、すぐに外に出て安全な場所に避難しましょう。

POINT 1 火災を防ぐ

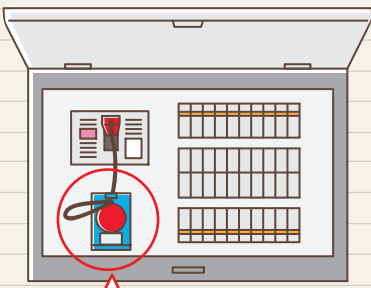
地震の二次災害として注意したいのが火災。地震で起こる火災の過半数は電気が原因と言われています。

- 電気ストーブなどの暖房器具はコンセントを抜く
- 停電していてもいなくてもブレーカーを落とす
- ガスは火を消すだけでなく、元栓も閉める

防災MEMO

感震ブレーカー

停電から復旧したとき、暖房器具などに通電して出火する「通電火災」など、この「通電火災」を防止する手段の一つが感震ブレーカー。分電盤やコンセントに設置し、地震の強い揺れを感知して自動的に電気を遮断します。(犬山市では、感震ブレーカー設置費補助事業を行っています。)



ボールタイプ簡易型感震ブレーカー

POINT 2 近所同士で声をかける

避難にあたっては、近所との助け合い、声掛けが不可欠です。

- 救助や応急処置が必要な人がいないか確認
- 高齢者や援助が必要な人の安否を確認
- 近所に声をかけ、玄関先にメモを貼り付け避難先を知らせる

避難のときに

避難にあたっては、正しい情報を収集するための携帯電話やラジオをはじめ、非常持出袋、ヘルメット、軍手、懐中電灯などを持ち出します。

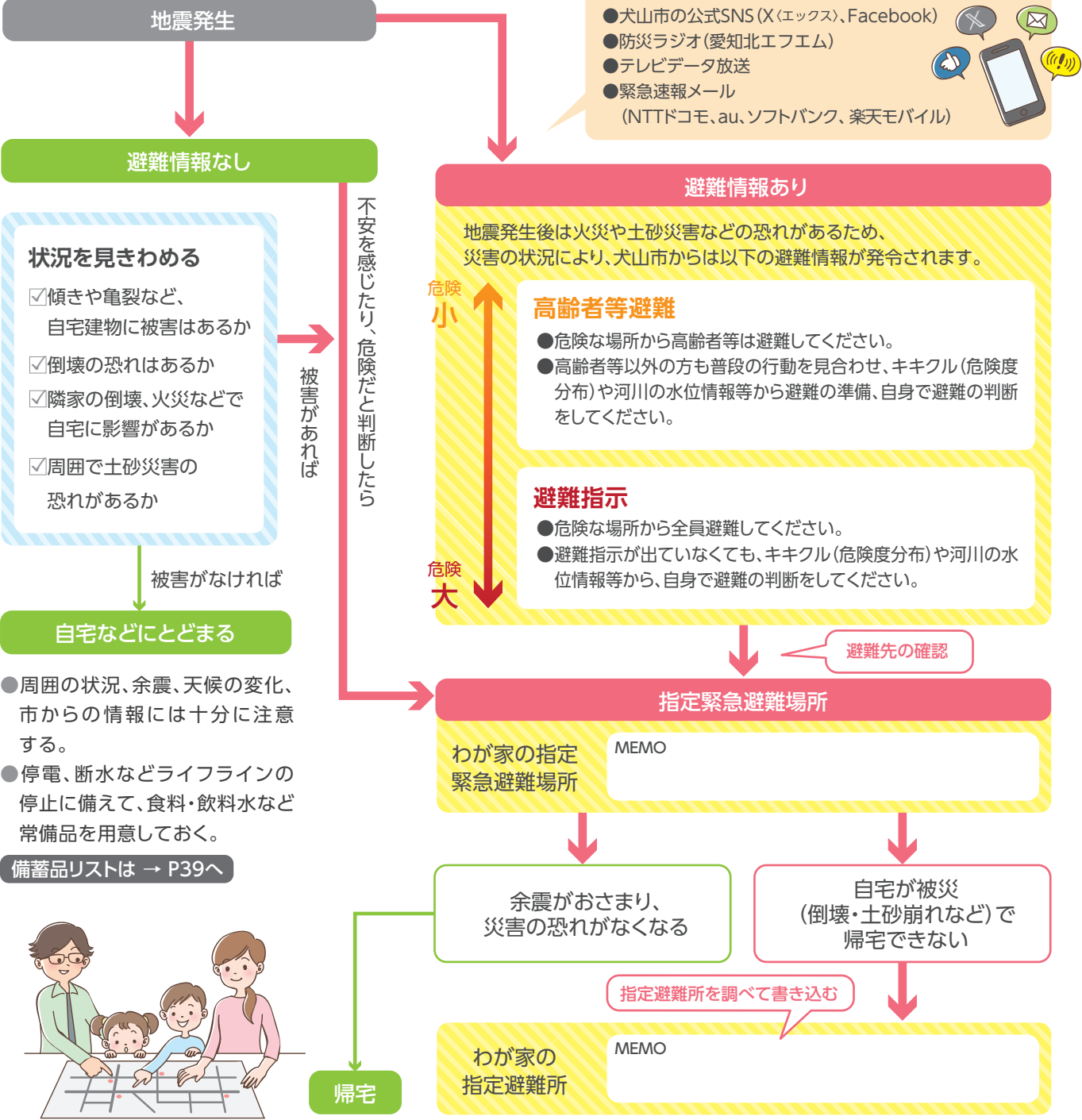
POINT 1 避難は徒歩が基本です

- 自動車の使用はできるだけ避ける
- 道路の亀裂やマンホールなどの隆起に注意する
- 道幅の狭い道や古い建物、ブロック塀を避ける
- 火災の延焼に巻き込まれないようにする

POINT 2 二次災害に注意

- 余震で建物が崩れる可能性があるため、余震情報、気象情報に注意する
- 一度避難した後、安全が確認されるまで家の中には入らないようにする

避難行動



地震

災害時
すぐに
CHECK!

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから
準備したいこと



台風や集中豪雨による災害

近年の台風は、強い勢力を保ったまま日本列島に接近・上陸することが多くなり、大雨とともに暴風による被害が目立っています。また、梅雨前線や秋雨前線が停滞することで大雨となり、河川のはん濫や洪水につながります。

●気象情報で使われる言葉と状況

ニュースや天気予報の気象情報で、よく使われる風や雨の状況を表す数値や用語。それぞれが表す状況を正しく知ることが大切です。

風の強さと吹き方

(単位は平均風速 m/秒)

やや強い風	10以上 ～15未満	●風に向かって歩けなくなる ●傘がさせない ●樹木全体、電線が揺れ始める
強い風	15以上 ～20未満	●風に向かって歩けなくなり、転倒する人も ●高所での作業はきわめて危険
非常に強い風	20以上 ～25未満	●何かにつかまっていなくて立っていられない ●飛来物により負傷のおそれがある
	25以上 ～30未満	●屋外での行動はきわめて危険 ●走行中のトラックが横転する
猛烈な風	30以上 ～35未満	●多くの樹木が倒れる ●建物の外装材が広範囲にわたって飛散する
	35以上 ～40未満	
	40以上	●住宅の倒壊、鉄骨建造物でも変形するものがある

雨の強さと降り方

(単位は mm/時間)

やや強い雨	10以上 ～20未満	●ザーザーと降る ●地面一面に水たまりができ、雨の跳ね返りで足元がぬれる
強い雨	20以上 ～30未満	●どしゃ降り。傘を差していてもぬれる ●寝ている人の半数くらいが雨に気づく ●自動車ではワイパーを動かしても見づらい
激しい雨	30以上 ～50未満	●バケツをひっくり返したように降る ●道路が川になる ●高速走行時にはハイドロプレーニング現象が起きブレーキが効かなくなる
非常に激しい雨	50以上 ～80未満	●滝のようにゴーゴーと降る ●傘はまったく役に立たなくなる ●水しぶきで視界が悪くなり、車の運転は危険
猛烈な雨	80以上～	●息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる

※気象庁「風の強さと吹き方」より

※気象庁「雨の強さと降り方」より

台風の大きさと強さ

台風は、風速15m/秒以上の風が吹く広さで「大きさ」を、最大風速で「強さ」を表します。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速 単位:m/秒
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33以上44未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44以上54未満
		猛烈な	54以上

※気象庁「台風の大きさと強さ」より

災害MEMO ▶ 線状降水帯(平成29年7月豪雨災害)

線状降水帯とは暖候期に多く発生し、集中豪雨を引き起こすことがある気象現象です。次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が線状に列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで、長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域となります。

平成29年7月豪雨災害は、この線状降水帯によるものと言われています。犬山市でレーダー解析により1時間に120ミリの降水を観測し、市内3か所で土砂崩れを確認、1軒が床上浸水、7軒が床下浸水したほか、各地で道路が冠水するなどの被害がありました。

●注意報・警報の種類と行動

気象庁から災害が発生するおそれがあるときに注意・警戒を呼びかける予報のうち、主に犬山市に関わるものです。警報の発表基準をはるかに超え、重大な災害が発生するおそれが著しく高くなっている場合、「特別警報」が発表されます。速やかに「いのちを守る」行動を行いましょう。

※気象庁ホームページ「気象警報・注意報の種類」より

注意報	警 報	特別警報
災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけるものです。気象情報に気をつけましょう。	重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけるものです。その後の状況によっては避難情報が出ることがあります。市からの避難情報に注意してください。	警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが非常に高まっています。ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

想定される災害

外水はん濫(河川による洪水害)

堤防の浸食や決壊、橋の流出、河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる災害。犬山市は北西部が面する木曽川、市の東部を流れる郷瀬川・新郷瀬川、市の中央から南部を流れる新川流域(合瀬川・半ノ木川・五条川・薬師川)について外水ハザードマップを用意しています。

NHKのデータ放送、国土交通省「川の防災情報」、Yahoo!天気・災害の河川水位情報でも最新の水位を確認できます。

[基準水位と避難情報] 木曽川、郷瀬川、新郷瀬川の各観測所で、水位があらかじめ設定された基準に達した場合に、危険度に応じて避難情報を発令します。

内水はん濫(雨水による浸水害・冠水)

用水路、下水溝などがあふれてはん濫したり、河川の増水などによって排水が阻まれ、住宅や田畑、道路などが水につかる災害。近くに河川がない都市部でも発生し、道路のアンダーパスや地下道などは特に注意が必要です。

暴風による災害

風の平均風速が毎秒20m以上で、建物の損壊や交通障害、停電などの被害の恐れが。さらに最大風速が毎秒40mを超えると、電柱やブロック塀が倒れたり、住宅が倒壊したりする可能性もあります。

地震

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから準備したいこと

13

INUUYAMA BOUSAI HANDBOOK

14



落雷・竜巻による災害

風水害の中でも特に予測が難しく、短期間、狭い範囲で集中的な被害をもたらすものに、落雷と竜巻があります。6月から11月にかけて多く発生します。多くは短期間に発達した積乱雲が原因で、晴天だった天気之急変し、雷、ヒョウ、どしゃ降りの雨、竜巻などの激しい気象現象を引き起こします。

●発達した積乱雲「スーパーセル」

スーパーセルとは巨大な積乱雲のことで、水平方向のスケールは数10km、寿命は数時間（通常の積乱雲は1時間未満）、巨大な上昇流と下降流からなる単一の循環を形成しています。これまでに経験したことがないくらいの激しい下降気流（ダウンバースト）、ヒョウ、竜巻、落雷などの荒天の原因となる気象現象を指して使うことが多くなってきました。

●落雷の被害

雷は、積乱雲の位置次第で、平地、山岳を問わずどこにでも落ち、周囲より高いものほど落ちやすいのが特徴です。周囲の開けた場所にいると、積乱雲から直接人体に落雷（直撃雷）することがあり、直撃雷を受けると約8割の人が死亡します。雷鳴が聞こえたり、暗い色の雷雲が近づいてきたら速やかに安全な場所へ避難しましょう。

※気象庁ホームページ「雷による災害」

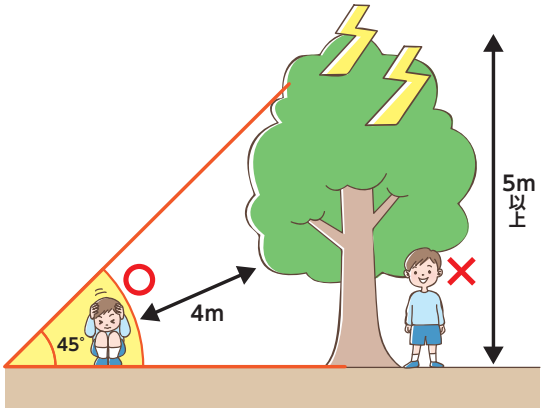
危険な場所

・周囲が開けた場所

グラウンド、ゴルフ場、屋外プール、堤防、山頂など、周囲に高い物がない場所。

・木のそば・森の中

高い木は落雷の危険性が高く、落雷した木の幹や枝から人体へ雷が飛び移る（側撃雷）ことがあります。



安全な場所

- ・鉄筋コンクリートの建物
- ・クルマ
- ・バス
- ・電車の中

近くに安全な場所がないときは、「雷しゃがみ」の姿勢をとる。

- 地面にしゃがみ込む
- 両足のかかとをくっつける
- 頭を下げ、できるだけ低い姿勢
- かかとを地面から浮かせる
- 両手で両耳をふさぐ

※防災ノート ホームページより



⚠ 災害廃棄物の分別

災害が原因で発生した廃棄物も分別が必要となります。災害ごとに災害廃棄物の収集場所や収集方法が異なります。市役所から随時情報を配信するので確認してください。



強風の飛来物と火災保険

例えば、強風でAさんの家の鉢植えが飛んで、隣のBさんの家の窓ガラスを割ってしまった。そんな時でも、Aさんには弁償・補償する責任はありません。これは火事の場合でも同様ですが、原因をつくった側に重大な過失が認められない限り損害賠償責任を負わなくていいことになっています。もっとも、台風などの強風ではどこから何が飛んでくるかわかりません。そうした場合に役立つのが火災保険。火災保険には特約として「物体の落下・飛来・衝突」という補償項目がありますので、補償の内容や条件を確認してみましょう。

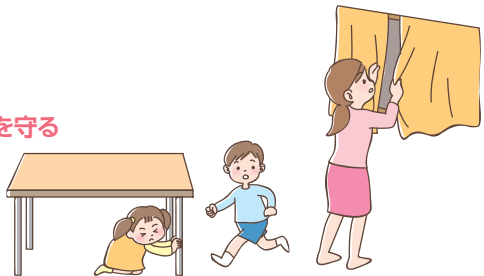
●竜巻の被害

竜巻は、まれな現象ですが、一度発生すると家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより、短時間で大きな被害をもたらすことがあります。また、積乱雲からはダウンバーストなどの突風もしばしば発生し、竜巻と同様に短時間で大きな被害をもたらすことがあります。突風が吹いてきたら、できるだけ早く頑丈な建物に逃げ、通過するのを待ちます。

屋内にいたら

飛来物そのもの、飛来物によって破損した窓ガラスの破片を避け通過を待ちます。

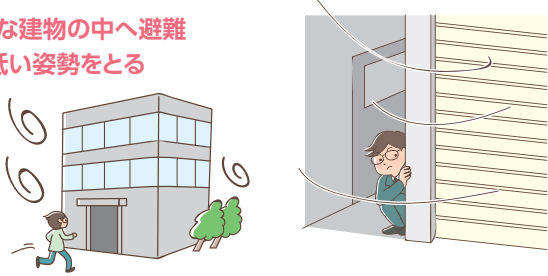
- ・窓、雨戸を閉め、カーテンを引く
- ・家の1階の窓のない場所に移動
- ・机の下に入るなど低い姿勢で頭を守る
- ・窓から離れる



屋外にいたら

突風や飛来物を避けられる場所で通過を待ちます。

- ・鉄筋コンクリートなど頑丈な建物の中へ避難
- ・扉やシャッターを閉めて、低い姿勢をとる
- ・近くに頑丈な建物がない場合は、物陰やくぼみに隠れる



⚠ 犬山市の風水害被害支援制度

犬山市では、風水害によって被害にあった場合に次のような支援制度があります。防災交通課にお問い合わせいただければ、各担当課へご案内します。

証明書の発行

罹災証明書の発行 → 監査事務局 (受付：防災交通課)
被災証明書の発行 → 防災交通課

復旧の支援

家屋の消毒 → 健康推進課 (受付は防災交通課)
罹災した家財等の処理 → 環境課
土砂災害応急復旧対策費の補助 → 整備課
被災住宅の応急修理 → 都市計画課

問い合わせ

平日8:30～17:15 防災交通課

保険料・税金の減免・免除

国民年金保険料の免除 → 保険年金課
後期高齢者医療保険料の減免 → 保険年金課
国民健康保険税の減免 → 保険年金課
市民税・県民税の減免 → 税務課
固定資産税・都市計画税の減免 → 税務課
介護保険料及び介護保険利用者負担額減免 → 高齢者支援課

生活再建の支援

被災者生活再建支援金の支給 → 福祉課
災害援護資金の貸付 → 福祉課
災害弔慰金の支給 → 福祉課
災害見舞金の支給 (市制度) → 福祉課
災害見舞金の支給 (県制度) → 福祉課
就学援助費の支給 → 学校教育課
教科用図書の再交付 → 学校教育課
保育料の減免 → 子ども未来課



0568-44-0346 左記以外の時間帯 0568-61-1800 (代表)



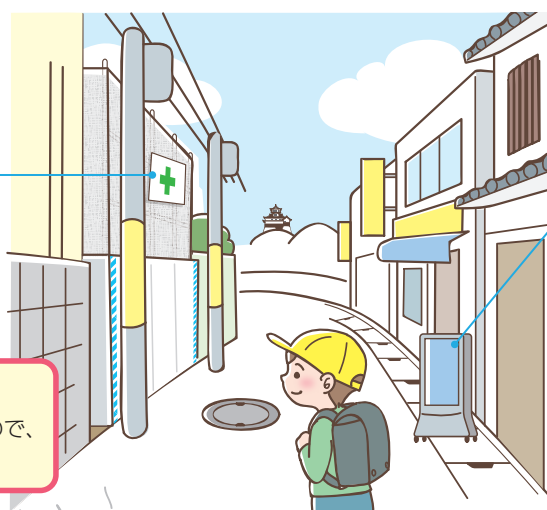
危険のチェックと心構え

台風の進路や集中豪雨の発生はある程度は予測できるようになっており、警報や注意報が発表されていたら外出しないことが何よりの安全策。とはいえ、近年のゲリラ豪雨など、予測できない集中豪雨や突風、落雷の発生もあります。そこで、出かけた先や通勤・通学路で起こることをイメージして、「とるべき行動」を確認してみましょう。

まちなか・通学路で

台風の強い風で工事の足場が崩れたり、看板が落ちてくることもあるので、上の方も確認を。

Momo's Ideas
カッパを常備!
傘は強風で飛ばされると危険なので、携帯用のカッパを鞆の中に!



路上の看板が風で動いたり、倒れたりするので、強風時は気をつけて。

落雷のときは開けた場所を避け、鉄筋コンクリートの建物や自動車の中などへ。

道路が冠水したら、マンホールや側溝のフタが開いているかもしれないので要注意。傘や杖などで足元を確認しながら歩く。

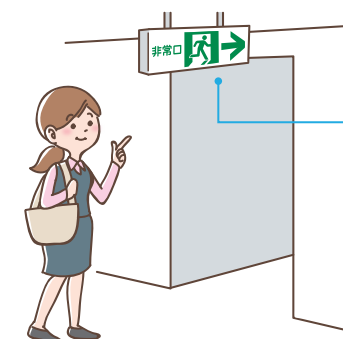


集中豪雨で増水した川はもちろん、用水路にも絶対に近づかない。

Momo's Ideas
安全な道をチェックしておこう!
豪雨のときは冠水の危険がある地下通路を避けて、遠回りでも安全な道を!

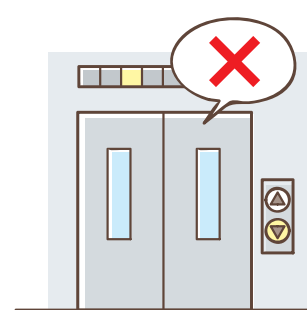


駅・商業施設などで



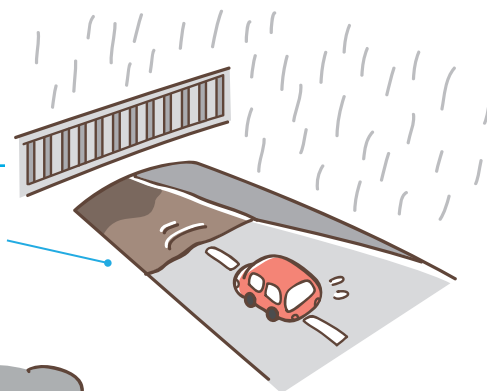
大きな建物では、非常口の確認を習慣に。

Momo's Ideas
普段からの習慣に!
トイレは行けるときに済ませる習慣を!



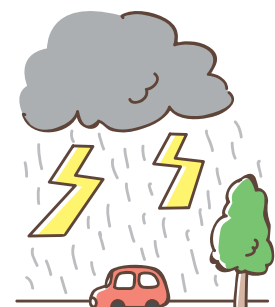
台風や豪雨のときは停電になることがあるので、エレベーターは使わず階段を使うと安心。

道路や線路の下を通るアンダーパスは、集中豪雨によって冠水する危険があるので豪雨時は通らない。



クルマで

Momo's Ideas
雷が鳴ったらクルマへ!
落雷のとき、クルマの中は安全なので落ち着くまでは外に出ないように!



冠水した道路は通らない。もし、冠水してクルマが動かなくなった場合は、すぐに逃げ出す。



家で

台風や豪雨のときは、屋根や窓の補修のために外へ出るのは危険です。



台風が接近してきたら不要不急の外出は控え、通り過ぎるのを待つ。

Momo's Ideas
雨戸がない時の対策!
台風の時、雨戸がなければカーテンを閉めて、風で飛んできたものが窓に当たっても室内に飛散しないように!

防災MEMO ▶ 風水害に備えた 家のまわりの準備

近年は、これまでにない猛烈な風を伴った台風が上陸しています。風で飛ばされる、飛んできた物がぶつかってくる、両方の対策が必要です。

☒ **窓ガラス**
網戸があれば外して室内に。雨戸がある場合はしっかり閉まるか確認しておく。強風が予想される場合は、飛散したものが当たっても窓ガラスが割れないように内側に×印にガムテープを貼る。

☒ **屋根・壁**
屋根瓦や屋根材、外壁材にヒビやはがれがないかを確認。アンテナが不安定になっていたら補強する。

☒ **雨どい**
継ぎ目が外れていたら修繕する。落ち葉や土砂が詰まっていたら清掃する。

☒ **ベランダ**
物干し竿、鉢植えなどは室内に。エアコンの室外機などはしっかり固定する。

☒ **プロパンガス**
しっかりとした土台の上に置き、倒れないようしっかりと固定する。

☒ **ブロック塀**
ひび割れ、傾き、鉄筋のサビがあれば修理しておく。

☒ **玄関まわり**
自転車や植木鉢などは室内に。側溝や用水がある場合、あふれた水の侵入に備えて土のうを用意する。

☒ **カーポート**
カーポートの屋根は、本体が破損したり本体ごと風で飛ばされたりしないように屋根材が先に外れる構造になっている。飛散防止には、屋根全体をネットで覆う、耐風圧を高める補強をするなどの対策を。

(犬山市では浸水対策として、雨水貯留浸透施設、雨水浸水防止施設の設置に対する補助事業を行っています。)



逃げ時判断・避難行動

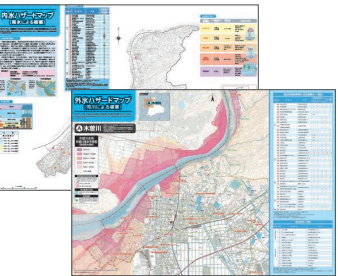
風水害では、河川のはん濫による洪水の恐れがあります。犬山市には、木曽川、郷瀬川、新郷瀬川、新川流域の外水ハザードマップと、雨水による内水ハザードマップがあり、マップの表示から危険の度合いを判断することができます。避難所へ行くのか、自宅にとどまるか。災害時、生死の分かれ目になることもある避難の判断に役立ててください。

「いのちを守る」行動の流れ → P4へ

判断の準備

準備するもの①

表紙ポケットの外水・内水ハザードマップを出して広げます。



外水・内水ハザードマップ

準備するもの②

大雨洪水 災害避難カード

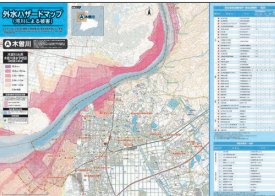


P41に想定される最大被害をまとめましょう。

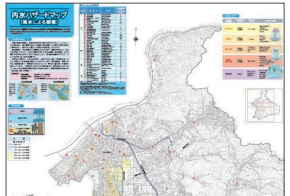
まずは危険度判定

STEP 1

2種類のハザードマップで自宅周辺の表示を確認



外水ハザードマップ



内水ハザードマップ

STEP 2

河川はん濫による危険度を外水ハザードマップで判定結果を確認

木曽川

浸水深	判定結果
5.0~10.0m以上	滞在可 要備え 要早めの避難 4階以上の建物にお住まいの方 1~3階にお住まいの方
3.0~5.0m	滞在可 要備え 要早めの避難 3階以上の建物にお住まいの方 1~2階にお住まいの方
0.5~3.0m	滞在可 要備え 要早めの避難 2階以上の建物にお住まいの方 平屋建て、1階にお住まいの方
0.5m未満	滞在可 要備え
白	浸水なし 要備え

郷瀬川・新郷瀬川・新川流域 (合瀬川・半ノ木川・五条川・薬師川)

浸水深	判定結果
2.0~5.0m未満の区域	滞在可 要備え 要早めの避難 3階以上の建物にお住まいの方 1~2階にお住まいの方
1.0~2.0m未満の区域	滞在可 要備え 要早めの避難 2階以上の建物にお住まいの方 平屋建て、1階にお住まいの方
0.5~1.0m未満の区域	滞在可 要備え
0.5m未満の区域	滞在可 要備え
白	浸水なし 要備え

※浸水のほかに、堤防決壊による家屋の倒壊の恐れ等があり、状況によっては避難の方法が異なります。詳しくは、市ホームページでご確認ください。

STEP 3

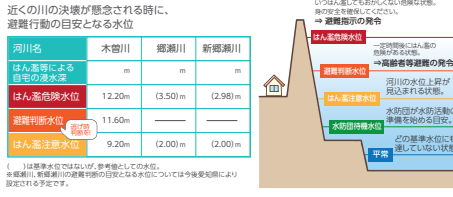
逃げ時判断

河川の危険度 判定結果 外水ハザードマップを確認	どのような状況になったとしても 「いのちだけは守る」行動指針	雨水による道路や住宅への冠水・浸水等 (内水はん濫) 内水ハザードマップを確認	逃げ時判断ポイント
要早めの避難 ☒	内水はん濫が始まる前に自宅外に思い切って避難しましょう。	あり	・自宅付近の道路冠水が始まる前に避難を判断。 ・冠水、浸水が始まり、歩行困難になるなど逃げ遅れた場合は、自宅の2階以上への垂直避難を判断。
滞在可 要備え ☒	内水はん濫が起きた場合は、無理をして自宅外に避難するのはやめましょう。	なし	・河川氾濫の危険性が高まる前に避難を判断。(河川の水位をチェック)
浸水なし要備え ☒	無理をして自宅外に避難するのはやめましょう。	あり	・冠水、浸水が始まり、歩行困難になるなど逃げ遅れた場合は、自宅の2階以上への垂直避難を判断。
		なし	・河川氾濫の危険性が高まるなど逃げ遅れた場合は、自宅の2階以上への垂直避難を判断。(河川の水位をチェック)
		あり	・自宅にとどまることが可能です。(いざという時に自宅で過ごせるよう日ごろから備えましょう。)
		なし	・自宅にとどまることが可能です。(いざという時に自宅で過ごせるよう日ごろから備えましょう。)

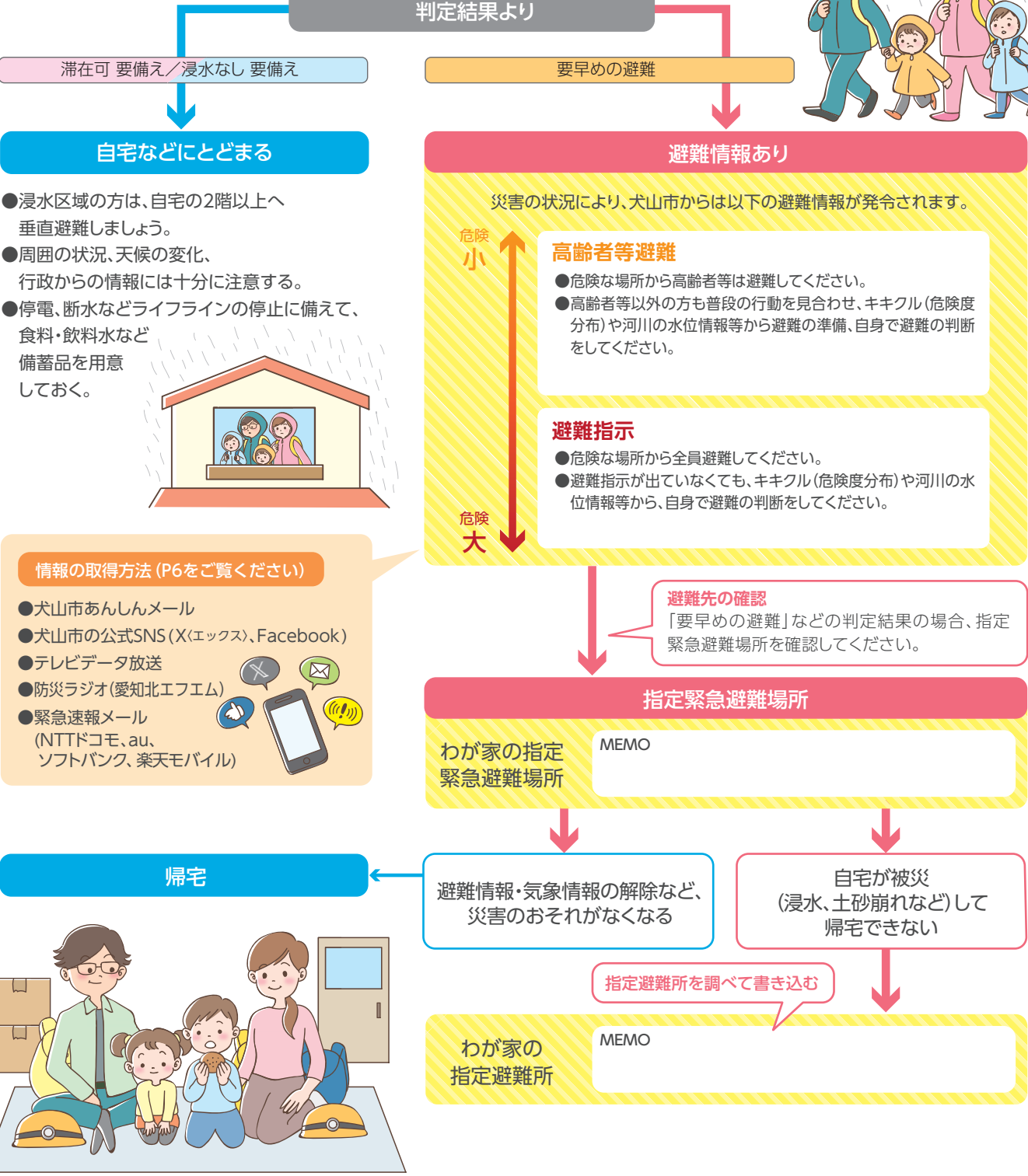
STEP 4

大雨洪水災害避難カードで川の危険度を確認 河川水位情報で水位を確認 → P41へ

大雨洪水 災害避難カード	
自宅の階数と構造	()階 木造・コンクリート造・()
洪水浸水想定(木曽川、郷瀬川、新郷瀬川)	()m ~ ()m
雨水による冠水・浸水等	あり・なし
避難マップ → P42	できている・できていない
避難経路の危険度	高い・やや高い・やや低い・低い・なし



避難行動





土砂による災害

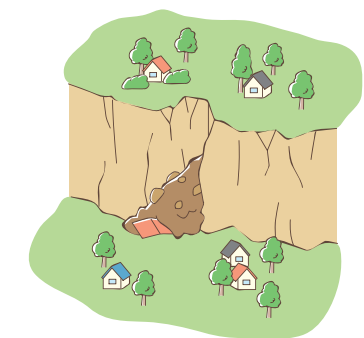
すさまじい破壊力の土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう土砂災害は、その発生を事前に予測することが難しい災害です。地中にたくさんの雨水が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があり、長雨や集中豪雨の発生により危険性が高まります。さらに、雨が止んだ後もしばらくは警戒が必要です。また、強い地震によって土砂崩れが起こることもあります。

●土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、大きく3つの種類に分けられ、それぞれに前兆れとなる現象が起こることがあります。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

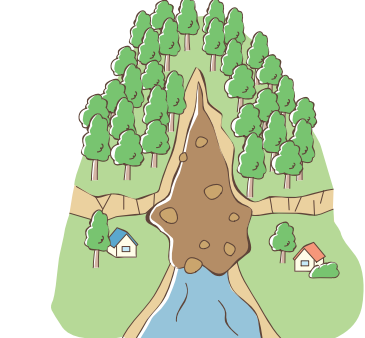
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然、崩れ落ちる。崩れ始めてから崩れ落ちるまでの時間が極めて短く、人命を奪うことの多い災害。



- [前兆現象]
- がけにひび割れができる
 - 小石がパラパラと落ちてくる
 - がけから水が湧き出る
 - わき水が止まる、濁る
 - 地鳴りがする

土石流

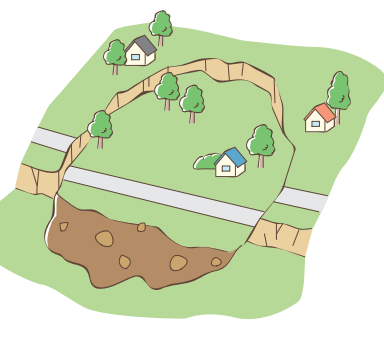
山腹や川底の石、土砂が、長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される。時速20～40kmという速さで、人家などを一瞬のうちに破壊してしまう。



- [前兆現象]
- 山鳴りがする
 - 急に川の水が濁り、流木が混じりだす
 - 腐った土の匂いがする
 - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
 - 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。移動する土の量が多いため、甚大な被害につながる。



- [前兆現象]
- 地面がひび割れる、陥没する
 - 亀裂や段差が発生する
 - がけや斜面から水が噴き出す
 - 井戸や沢の水が濁る
 - 地鳴り、山鳴りがする
 - 樹木が傾く

※土砂災害の種類と前兆現象 出典:内閣府政府広報室

⚠愛知県が指定する犬山市内の「土砂災害(特別)警戒区域」

犬山市内は西半分が濃尾平野、東半分が山地という地形です。そのため、平地と山地が接する城東地区を中心に、市内各所に土砂災害(特別)警戒区域が見られます。

がけ崩れ

警戒区域 **235カ所**
(そのうちの特別警戒区域 **216カ所**)

土石流

警戒区域 **87カ所**
(そのうちの特別警戒区域 **61カ所**)

地すべり

警戒区域 **0カ所**

→詳しくは、「土砂災害警戒区域マップ」でチェック!

●土砂災害が発生しやすい場所

以下のような場所で、土砂災害が発生しやすいと考えられます。

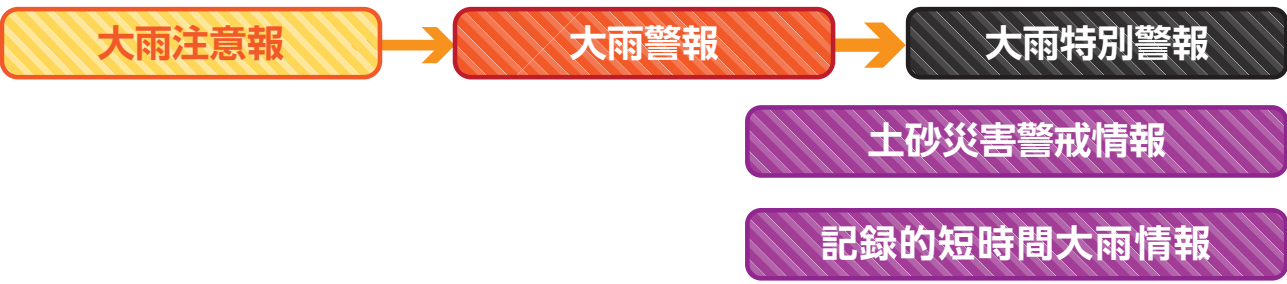
扇状地	造成地	山間部	急傾斜地
山間部の大雨によって山崩れが起こると、土石流が扇状地(川が山地から平地へと流れ出るところにできた扇状の土地)を直撃する可能性がある。	宅地などで造成し盛土した場所は、地質・地形が不安定なので、大雨が降ると地盤がゆるみ崩れる危険がある。水抜き穴から濁った水が出始めたら要注意。	大雨や地震によって山崩れが発生する。特に、樹木の少ない山間部では土石流の危険が大きくなる。	急斜面では、豪雨などによって、突然がけ崩れが起こる。

●土砂災害からいのちを守る

「土砂災害警戒情報」※1に注意

土砂災害警戒区域などに住む人は、大雨警報が発表されたらいつでも避難できるよう準備し、犬山市から避難情報などが発令されたら速やかに**避難行動**をとってください。

※1 いのちに危険を及ぼす土砂災害発生危険度が高まったとき、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。



※気象庁ホームページ「気象警報・注意報の種類」より

防災MEMO ▶ キキル(危険度分布)

土砂災害警戒情報や大雨警報が発表されたときには、気象庁や愛知県のホームページで提供される「キキル危険度分布土砂キキル」※1を確認しましょう。自宅周辺の表示が「危険」(紫色のメッシュ)となった場合は、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況なので、土砂災害警戒区域等の外の、少しでも安全な場所へ避難しましょう。



※1 領域(メッシュ)ごとに、2時間先までの土壌雨量指数等の予想を用いて、土砂災害発生危険度の高まりを4段階で判定した結果を、色別で表示。



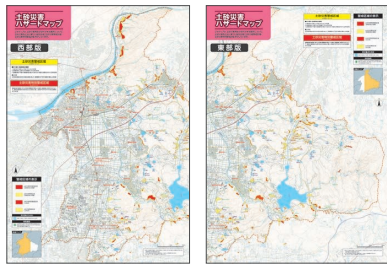
逃げ時判断・避難行動

土砂災害は、その発生を事前に予測することは難しいですが、危険性の高まりを察知し、備えることは可能です。また、犬山市から避難情報が発令される前でも、前兆現象に気づくなど危険を感じたら自主的に避難するのが基本です。

逃げ時判断

STEP 1 土砂災害ハザードマップで自宅周辺の表示を確認

赤、黄、白のいずれかの色で表示してあります。



土砂災害ハザードマップ (西部・東部)

STEP 2 判定結果を確認

自宅の区域指定の状況から判定結果を確認しましょう。
[レッドゾーン]、[イエローゾーン]に該当する場合は、大雨警報が発表されたら避難準備を開始します。

区域指定	判定結果
特別警戒区域 (レッドゾーン)	要早めの避難
警戒区域 (イエローゾーン)	要早めの避難
白 (山間部)	滞在可 要備え
白	影響なし 要備え

STEP 3 逃げ時判断

判定結果	いのちを守る行動指針	逃げ時判断ポイント
要早めの避難 	「避難指示・高齢者等避難」の発令とともに避難を開始しましょう。 風雨が強まる前に警戒区域外へ移動する必要があります。	・土砂災害の予兆現象に注意し、異常を発見した場合は、直ぐに避難しましょう。 ・自宅付近の道路冠水が始まる前に、思い切って土砂災害警戒区域外に避難しましょう。 ・風雨が強まり、逃げ遅れた場合は、自宅の2階以上の山とは反対の部屋へ垂直避難をしましょう。

判定結果	いのちを守る行動指針	逃げ時判断ポイント
滞在可 要備え 	無理をして自宅外に避難するのはやめましょう。	・自宅にとどまることが可能です。 (いざという時に自宅で過ごせるよう日ごろから備えましょう。)
影響なし 要備え 		

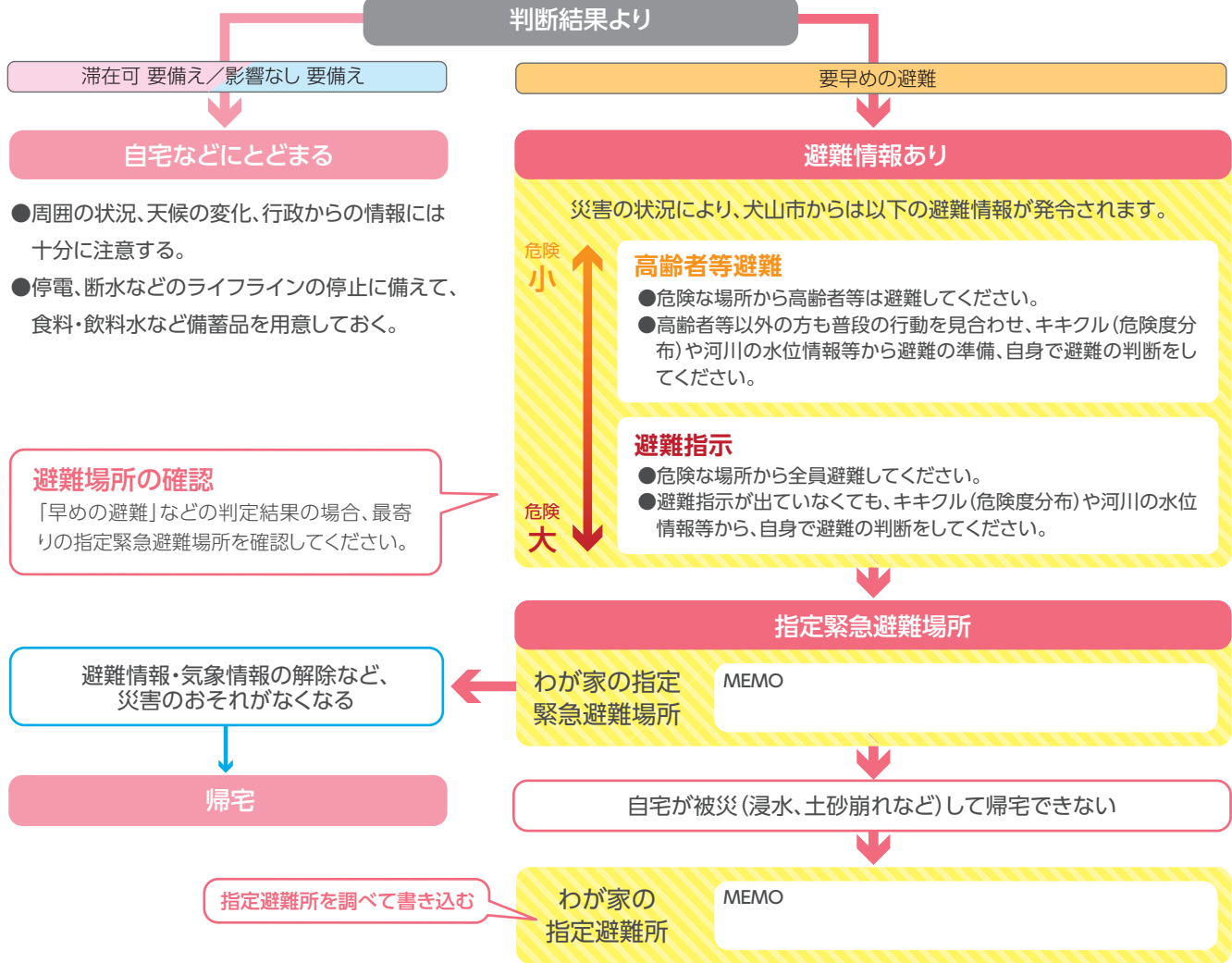
判断の準備 準備するもの

表紙ポケットの土砂災害ハザードマップを出して広げます。



土砂災害ハザードマップ (西部・東部)

避難行動



今後の防災情報について

昨今の気象状況から、大きな災害がもたらされる可能性があり、住民が「自らのいのちは自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動がとれるようにならなければいけません。そのため、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供することで、受け手側が情報の意味を直感的に理解しやすいものとする方針が国から示されました。

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等(市町村)行動を促す情報
(洪水・土砂災害) 警戒レベル5	既に災害が発生しており、いのちを守るための最善の行動	● 緊急安全確保
(洪水・土砂災害) 警戒レベル4	● 速やかに立ち退き避難 等 ● 直ちにいのちを守る行動(事態が切迫している場合等)	● 避難指示
(洪水・土砂災害) 警戒レベル3	高齢者等は立退き避難 その他の者は立退き避難準備 等	● 高齢者等避難
(洪水・土砂災害) 警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する ● ハザードマップ等により災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認 ● 避難情報の把握手段の確認、注意 等	
(洪水・土砂災害) 警戒レベル1	災害への心構えを高める ● 防災気象情報等の最新情報に注意 等	

※住民の避難行動は、各個人の居住地の地形、住宅構造、家族構成等の違いに応じ、適切な避難行動、避難のタイミングは、各個人で異なることに注意が必要。
※警戒レベル1～5は必ずしも順番にすべて発表されるものではないことに注意が必要。
※市町村が発令する避難指示等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、市町村の避難指示等の発令に資する情報が出されたとしても発令されないことがある。

国の中央防災会議防災対策実行会議「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」において、以下のメッセージが出されました。

<国民の皆さんへ ～大事な命が失われる前に～>

- ・自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- ・気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
- ・行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- ・行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
- ・避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- ・まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。
- ・命を失わないために、災害に関心を持ってください。
 - あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？
 - 危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？
- ・「あなた」一人ではありません。避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。



避難するところ

災害の状況や目的によって避難行動、避難するところが変わってきます。地震、風水害、土砂災害それぞれで確認した避難行動(P12・P20・P24)を基本に、指定緊急避難場所／指定避難所一覧表を見ながら、家族で避難するところを確認しましょう。また、避難の際には、お年寄りや身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで避難しましょう。

避難の基本

避難とは、「災害からいのちを守る」行動です。必ずしも避難場所へ移動するだけではなく、その場にとどまることがいのちを守る行動となる場合もあります。



2種類の避難

目的	いのちを守るための避難	仮の生活を送るための避難
想定される災害	水害、土砂災害、延焼火災	主に地震
逃げるタイミング	災害が発生する前(しそうな時)	災害が発生した後
ポイント	急ぐ必要がある	あわてず落ち着いて避難
避難の種類	水平避難 安全を確保できる場所に一時的に移動する。(指定緊急避難場所) 垂直避難 安全を確保できる高さの場所に移動する。(自宅の2階など) 待避 安全を確保できる場所にとどまる。(自宅など)	指定避難所への移動 または在宅避難

防災MEMO ▶ 避難する時の注意点

夜間の場合

夜間の避難は見通しが悪く、側溝への転落や障害物につまづいての転倒などの危険があります。家族で手をつなぎなど集団となり、懐中電灯を使って周囲や足元を確認しながら、より広い道を注意しながら通行しましょう。

冬の場合

冬期は屋外はもちろん避難場所も寒いことが予想されるので、体調を崩さないよう衣類や携帯用カイロなどの防寒対策をしっかりと。ストーブなどの使用により火災の発生危険があるので、避難経路の火災にも注意して歩きましょう。

避難する場所の確認

準備するもの①

表紙ポケットの外水ハザードマップにある「指定緊急避難場所／指定避難所一覧表」を確認します。



準備するもの②

P42の地図用方眼スペースを開き、自宅からそれぞれの避難所への道順と要注意ポイントを書き込みます。



避難所の種類

犬山市では、2011年の東日本大震災を受けて改正された災害対策基本法に基づき、「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を指定しています。

指定緊急避難場所

いのちを守るために逃げる場所

災害が発生、または発生するおそれがある場合、その危険からいのちを守るために緊急避難する施設・場所です。災害によって避難する場所、施設が異なりますので、事前によく確認してください。

- 小学校や中学校など
- 公民館や公共施設
- スポーツ広場や公園

洪水・内水はん濫、土砂災害の場合は体育館、地震、大規模火災の場合はグラウンドを指定

洪水・内水はん濫、土砂災害の場合

地震、大規模火災の場合

指定避難所

災害によって自宅で生活できない場合に生活を送る場所

地震や火災によって自宅が損壊したり、水害やがけ崩れなどの危険のために自宅で生活ができない場合に一定期間生活するための場所です。犬山市では小中学校の体育館や公民館など公共施設、民間企業の体育館などを指定しています。



自宅から避難する前に、3つのチェック!

自宅から避難所などへ避難する場合、火災などの二次災害を防ぐために3つの確認を忘れずに!

☒ 電気のブレーカーを落とす

避難の際に停電していると、スイッチが入ったままの電化製品から通電後に火災が起こったり漏電する危険があります。

☒ ガスや水道の元栓を閉める

復旧後、ガス漏れや漏水の可能性がります。

☒ 戸締まりを忘れずに

空き巣などの防犯対策としての戸締まり、カーテンを閉めるなど行ってから避難します。

避難と避難生活



避難所生活マニュアル①

指定避難所は、地域の人々の安全を確保し、被害が復旧されるまで臨時に生活を行う場所です。しかし、体育館などで多くの人々が寝食を共にすることとなり、互いに配慮し合い、助け合って共同生活をしていく必要があります。

●指定避難所に着いたら

避難した人が避難所に到着してからの流れの一例です。避難所開設当初は混乱していることも予想され、避難所ごとに順序やルールが異なりますので、運営スタッフの指示に従いましょう。できる範囲で役割分担して避難者同士が助け合って生活します。



01 連絡先の情報登録

障がいのある方、難病・アレルギー・その他慢性疾患のある方、妊娠中や乳幼児を連れてくる方、言語・宗教上の理由などで配慮が必要な方などは登録の際に伝えてください。



02 家族などの安否確認

安否連絡用に設けられた掲示板などで家族や近隣の人の安否を確認します。



03 居住スペースへ

避難所では家族構成や人数に合わせて居住スペースが割り当てられます。



04 役割分担

避難所は、利用する人全員が協力して運営します。年齢や性別に関係なく積極的に運営に参加し、割り当てられた係の仕事をしっかり行いましょう。



防災MEMO ▶ 避難所の運営 — 被災者も運営スタッフ

避難所の運営は、避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する人を含む）の自主運営が原則であり、自主的に行うことができるよう、地域（町内会、自治会など）の役員や自主防災組織の長など、避難所を利用する人の代表者や行政担当者、施設管理者などで構成する委員会を設置し、運営に関わる事項を協議、決定します。



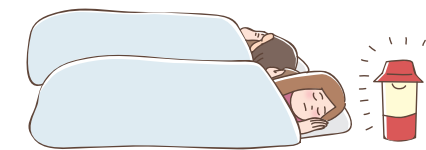
●避難所生活での行動

実際の避難所では、最低限の取り決めは掲示板などに表示されますが、避難生活はストレスを感じることが多く、互いを思いやる行動が重要になってきます。



物資の配給

指示に従い、落ち着いて自分の順番を待ちましょう。列に並べない要配慮者への思いやりも大切です。



消灯時間

近年の災害では、消灯後、ゲーム機や携帯電話の画面が明るくて周囲の人が眠れないというトラブルもあります。



着替えや洗濯干し

着替えや洗濯物を干すのは、避難所内に設置された更衣室や物干し場を利用します。



トイレの利用と掃除

断水している時などは必ず指示された方法で利用しましょう。利用者全員が清潔な使用を心がけ、交代で清掃を行いましょう。



衛生管理とゴミ

家族のゴミは指定されたゴミ袋に入れ、しっかり口を縛って封をし、決められたゴミ捨て場に、指定された分別方法でゴミ出します。



喫煙・飲酒、焚き火

指定避難所の敷地内は禁煙です。飲酒も控えましょう。また、焚き火なども管理者の許可なく行わないようにしましょう。

防災MEMO ▶ いざという時の応急手当て



■出血

- ①出血部分にガーゼやタオルを当て、その上から手で圧迫する。
 - ②傷口は心臓よりも高い位置にする。
- ※感染を防ぐため、ビニール手袋やビニール袋を使用するのが望ましい。



■やけど

- ①流水で冷やす。
- ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ③水疱（水ぶくれ）は破らない。
- ④冷やした後は消毒ガーゼをかき、い布で保護し、医療機関へ。



■骨折

- ①折れた部分に添え木をあてて固定し、医療機関へ。
- ②適当な添え木がなければ、板、筒状にした週刊誌、傘、段ボールなど身近にあるもので代用する。その上からテープでとめてもよい。



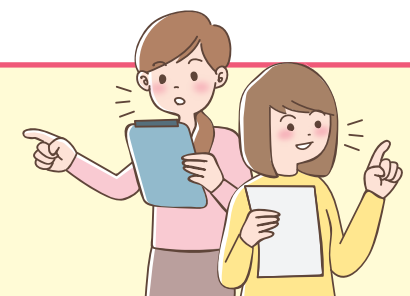
■ねんざ

- ①患部を冷やす。
- ②靴をはいたまま、上から三角巾や布で固定する。



避難所運営に女性の参画を

これまでの災害では、女性が避難所の運営に関わることで孤立防止、交流促進のための共有スペースづくり、乳幼児のいる世帯専用のスペースを確保などの事例があります。女性も自ら積極的に運営に参加するとともに、それを受け入れる体制づくりが必要です。



避難と避難生活

避難所生活マニュアル②

体育館など避難所での生活は、さらなる災害への不安や、家族以外の人たちと一緒に過ごすことで食事や睡眠も思うようにならず、心と体の健康にさまざまな影響を及ぼします。少しでも快適に、健康に過ごせるよう取り組んでいく気持ちが大切です。

●避難所での体調管理

避難生活では、睡眠も十分とれず、食事でも栄養のバランスのいいものばかりとは限りません。そんな環境で健康を維持していくために、以下のことに注意しましょう。

感染症の予防

一人ひとりがこまめに手洗い、うがいを行うことで感染防止につなげましょう。

エコノミークラス症候群の予防

窮屈な空間で長い時間、同じ姿勢を続けると、血流が悪くなり血栓ができてしまいます。散歩やストレッチ、軽い足の運動をすることで予防できます。

[運動の例]
かかとの上下運動(20～30回)を1時間に1回程度行うだけで血流が改善されます。

熱中症・脱水症の予防

夏場の体育館などでは十分に冷房が行き渡らないため、熱中症には注意が必要です。こまめに水分・塩分を補給し、通気性のよい服装を心がけましょう。

口腔ケア

少量の水やお茶でもうがいをすることで、虫歯や歯周病の予防につながります。ハンカチやティッシュペーパーで歯の汚れを取るのも効果的です。

ママと赤ちゃん、こんな症状があれば早めに相談を!

女性、特に産前産後のママと赤ちゃんにとって避難所生活はかなり厳しいものと言えます。不調のサインを見落とさず、医療機関に受診するか、避難所の保健師、担当者に相談するようにしましょう。

妊 婦

お腹の張り・痛み、出血、胎動の変化、むくみ、頭痛、目がチカチカするなどの変化 など

産 後

発熱、悪露(おろ)の急な増加、帝王切開・会陰切開後の痛み、乳房の腫れ・痛み、母乳分泌量の減少 など

乳 児

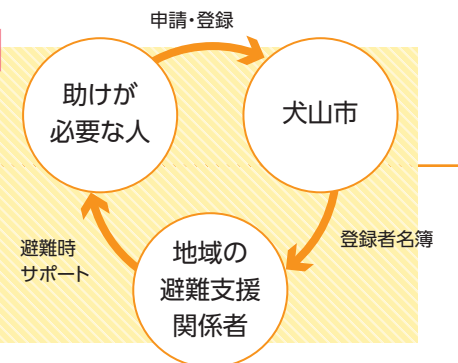
発熱、下痢、食欲低下、ほ乳力の低下、いつもと様子が違う など



犬山市の「避難行動要支援者支援制度」

犬山市は、申請に基づいて「避難行動要支援者名簿」を作り、避難支援関係者にお渡しします。要介護認定者や、障がい者など災害時に助けの必要な人がいる場合は申請してください。

問い合わせ
障害者支援課 0568-44-0321
高齢者支援課 0568-44-0325



●要配慮者への対応

妊婦、子ども、高齢者、外国人、障がいのある方などは、避難生活では要配慮者として思いやりと支援が必要です。

※避難所のオストメイト対応トイレの設置状況については、ハザードマップをご確認ください。

妊婦・乳幼児

更衣や授乳などプライバシーへの配慮はもちろん、妊娠中や産後間もない女性は健康面にも気を配りましょう。



子ども

子どもたちは遊ぶことでストレスを発散させるので、自由にできる場所・時間を確保してあげましょう。



高齢者

不便なことがあっても自分から言い出せないことがあるので、頻繁に明るく声をかけ、孤立感や不安を感じさせないようにしましょう。緊急のときは、おぶって避難します。



障がい者

肢体の不自由な人

車椅子の場合、階段は必ず3人以上で援助を。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動。

目の不自由な人

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。誘導するときは、杖を持ったほうの手を取らない。ひじのあたりに軽く触れて、半歩くらい前をゆっくりと。

耳の不自由な人

話すときは近くで相手に顔を向け、口は大きくはっきり動かして話します。わからないようであれば、紙とペンで筆談を。手のひらに指先で字を書いて筆談することも有効です。

知的障がいや精神障がいのある方

落ち着いて行動できるよう、穏やかな声で安心できるような声かけをしてください。パニックを起こしている時は、優しく声をかけ、できるだけ静かな空間に誘導し、落ち着くまで見守ってください。怒ったり、力づくで抑えることは逆効果です。



要配慮者のために用意したいもののリスト

災害時に周囲の助けが必要な人がいる家庭では、通常の常備品、非常持出品に加えて用意しておく安心なものがあります。

高齢者・障がい者

逃げやすいルートの確保、専用の食料・衛生面の対策グッズ

妊婦・乳幼児

何よりも感染症に注意。乳幼児用品は多めに用意

- ☒ 服用している薬、常備薬、市販薬
- ☒ ホイッスル
- ☒ おかゆなど柔らかい、水気のある非常食
- ☒ 歯磨きシート、マスクなど感染症対策グッズ
- ☒ ブランケットや寝袋などの寝具
- ☒ メガネの予備、補聴器の電池

- ☒ 防寒シート、ブランケット
- ☒ マットなど厚手の敷物
- ☒ 簡易トイレ
- ☒ ウェットティッシュなど衛生用品は多めに
- ☒ ミルク、離乳食は1週間分以上用意する
- ☒ 紙おむつ、おしり拭き、ポリ袋も1週間分以上
- ☒ ほ乳瓶、ポットなど保温容器は予備も用意

避難と避難生活

外国人への対応

犬山市には約3千人の外国人が居住し、外国からの観光客数も増加傾向にあります。外国人の多くは地震の経験がないなど、災害の際に強い不安を感じるとされます。やさしい日本語で声をかけるなど、安心できるよう配慮が必要です。

災害時の対応

外国人は要配慮者として災害時には思いやりを込めた支援が必要です。

情報の提供

日本語が理解できない人

周囲の人が指定緊急避難場所まで誘導してあげましょう。



日本語が理解できる人

指定緊急避難場所までの道順や目印など必要な情報を伝えます。

避難所などでの対応

災害への不安に加え、生活文化の相違や言葉を理解できないことが大きな不安につながります。指定避難所の管理者などに相談し、外国語を理解できる通訳を呼んできちんと情報を伝えるようにしましょう。

言葉が理解できなくても、支え合う気持ちは伝わります。やさしい日本語でゆっくりと話しかけ、孤立しないよう配慮します。



外国人が備えること

日ごろからの備え

- ☒ 一緒に避難する人、相談できる人を確保しましょう
- ☒ 日本の災害に対する知識、情報収集をしましょう

Checkしておこう!

気象庁 災害から身を守ろう

「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう!」(日本語版・英語版)



「その時、あなたは どうする! 緊急地震速報のしくみと心得」(日本語版・英語版・中国語版・韓国語版)



外国人自身が準備しておくもの

- ☒ パスポート
- ☒ 大使館、領事館の連絡先
- ☒ 在留カード
- ☒ 日本での住所または滞在先(ホテルなど)の連絡先
- ☒ 学生証、社員証
- ☒ 自国での連絡先(家族、勤務先など)



子ども・女性の防災対策

子ども・女性にとっての避難所での問題



対策

トイレや通路は明るくする

避難所での性暴力を防ぐために、暗がりや人目のつかない場所は明るくしましょう。

男女別のスペースを用意する

更衣室や洗濯物干し場は、男女で場所を分けましょう。

女性も避難所運営に積極的に参加する

女性特有の相談や、下着・生理用品などの配布は、同性が行えるようにしましょう。

授乳室やキッズスペースを用意する

安心して授乳を行ったり、子どもたちが遊べる部屋や場所を設置しましょう。

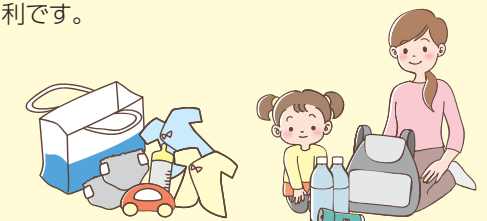
子ども・女性のための備蓄品リスト

- ☒ マスク
- ☒ 生理用品
- ☒ 常備薬
- ☒ 救急用品
- ☒ 笛(救助を呼ぶため)
- ☒ ポリ袋
- ☒ 簡易食(アメ・チョコレート)
- ☒ 簡易トイレ
- ☒ ほ乳瓶
- ☒ 離乳食
- ☒ 粉ミルク・缶ミルク
- ☒ 母子健康手帳



ママバッグ=最強の防災バッグ

乳幼児のいる家庭では、外出時等に使うママバッグが、災害時には最強の防災バッグに変わります! 日ごろから防災も意識して中身を揃えましょう! また、小物などはボトルに入れて持ち運ぶのも便利です。



コラム こどもと女性目線の防災対策

災害発災後こどもは、そばにいる大人の不安を感じ取り、甘えることもできず、こどもにとって災害発災後は「我慢」の連続です。被災者の半数は女性。男性目線だけでなく、女性目線・こども目線が必要です。災害は非日常を生じさせます。大切なことはできるだけ早く日常を取り戻すことです。

被災地での話。「こどもや女性のことは、落ち着いてから」と。いいえ「落ち着いてからでは遅い!!」知恵をだし、一人ひとりの声を聴き、どうすればよいのかともに考え行動しましょう。災害発災後パワーバランスが固まる前にこどもと女性もとにかく動きましょう。

そして平時からこどもとともに楽しく防災・減災の活動をやりましょう。

みんなで知恵をだし、これをやってみよう。あれもやってみよう。とにかくやろう。

If not you, who? あなたじゃなきゃ誰がやるの? If not now, when? 今じゃなきゃいつやるの?

一般社団法人こども女性ネット東海 執行理事 藤岡喜美子

避難と 避難生活



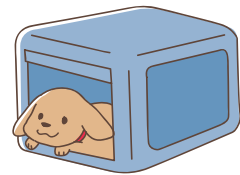
避難はペットと一緒に

被災した際には、ペットと一緒に避難するようにします。避難所ごとにペットの避難スペースなどが異なりますので、管理者の指示に従ってください。

●日常のしつけと備え

避難所でのペットを巡るトラブルを防ぐために、日ごろからのしつけが大切です。

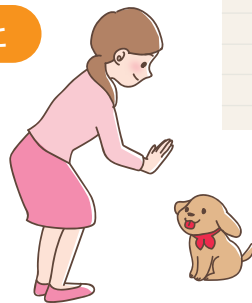
日ごろからしつけておきたいこと



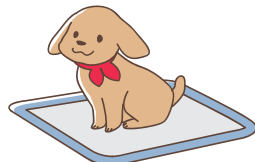
- ✓ 普段からケージやキャリーバッグに慣らしておく



- ✓ 人や他の動物を怖がったり、攻撃的にならないようにしつける



- ✓ 犬の場合、「待て」「伏せ」などの基本動作、不必要に吠えないようにしつける



- ✓ トイレは決められた場所で行えるようにする

日ごろからの健康管理

- ✓ ワクチン接種や寄生虫の予防駆除などを徹底しておく
- ✓ 繁殖を希望しない場合は、不妊・去勢手術をしておく
- ✓ 定期的なトリミング・シャンプー・ブラッシング等で清潔さを保つ
- ✓ 服薬の状況等を随時記録しておく

○ 犬鑑札

第〇〇〇〇〇号

犬山市
愛知県



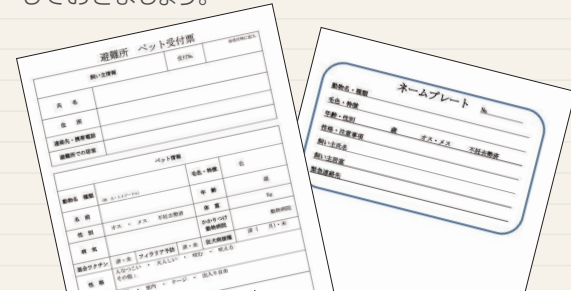
(上) 鑑札

(下) 注射済票

※注射済票は年度によって「年度」「色」が変わります

防災MEMO ▶ ペット受付票の作成

ペットを避難所へ連れて行く場合、受付票の作成をしておきましょう。



日ごろからの備え

- ✓ ペット受付票の作成
- ✓ 犬の場合は、必ず首輪などに鑑札と狂犬病予防注射済票をつけておく
- ✓ 迷子に備え、迷子札やマイクロチップで身元確認できるようにしておく
- ✓ ペットの写真をスマホなどで撮影・保存しておく
- ✓ ペット用品を備えておく

ペットがいる方の準備リスト

- ✓ エサと水
- ✓ 簡易トイレ、ペットシート(新聞紙)
- ✓ ケージ
- ✓ リード
- ✓ 常備薬
- ✓ ポリ袋
- ✓ 小型のテント
- ✓ 食器
- ✓ ウェットティッシュ
- ✓ 匂いのついたおもちゃ

⚠ チェックしておこう！

犬山市ホームページ

災害時のペット対策(震災)



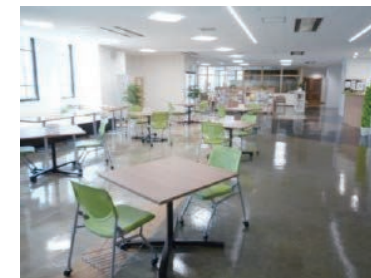
●災害が起きたら

同行避難

避難者の生活場所とは別に、避難所敷地内にペット飼育場所を設置し、飼育する。
(例:車庫、自転車置き場、軒下、ピロティ等)
市が指定している避難所は、すべて同行避難が可能です。

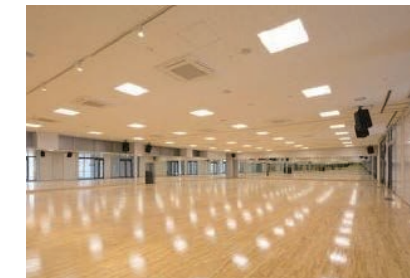
同室避難(避難所施設内同居)

ペットを連れていない避難者と、ペットを連れた避難者が住み分けをした上で、避難所施設内で飼い主とペットが同居するもの。
市内33か所の指定避難所のうち下記3か所を同室避難が可能な避難所として位置づけています。



市民交流センター
「フロイデ」

1階「協働プラザ」



犬山市体育館
(エナジーサポートアリーナ)

1階「多目的スタジオ」

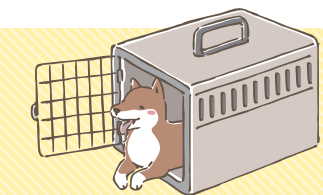


楽田ふれあいセンター

2階「情報工房」

⚠ ペット避難に関する避難所のルール

- ・ペットは飼い主が責任を持って世話をすること
- ・施設内ではペットをケージに入れること
- ・ペットは指定された場所で飼育し、他のスペースに入れないこと
- ・避難生活に必要な物(エサ、薬、ケージ、首輪など)は飼い主が準備すること
- ・病気やアレルギーがある方も避難されていることに配慮し、避難者同士の「思いやり」の気持ちを欠かさないこと
- ・避難所運営本部(施設管理者、避難所担当職員など)の指示に従うこと



コラム 災害時のペット対策

災害時はペットも不安や恐怖から小さな物音でもひどく怯える、ストレスでお腹を壊す、排泄を我慢して膀胱炎になる等の体調不良を起こす可能性があります。そこで少しでも快適な避難生活を送れるように日頃からの準備が大切です。特に大切な事はケージに入れる事、偏食を無くし何でも食べられる事、どこでも排泄できるようにしておく事です。いざという時に慌てないよう今日から早速取り掛かって頂く事が重要です。

犬山動物総合医療センターでは、飼い主様向けに防災セミナーの開催や、ペット用避難用品の展示・販売、獣医師によるしつけ相談も行っていますのでお気軽にご相談ください。

犬山動物総合医療センター



地震

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから
準備したいこと

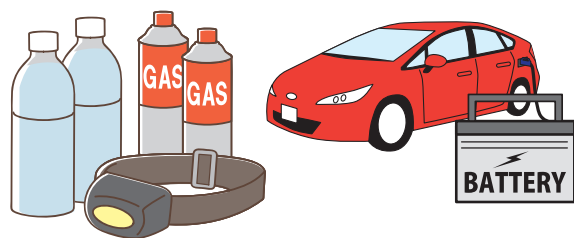
避難と避難生活

在宅避難

避難所で暮らすことはひとつの選択肢であり、付近の状況が安全で、自宅が無事なら、そのまま自宅で暮らす「在宅避難」も考えられます。
被災後にどこで暮らすのかをあらかじめ考えておき、危険を見きわめ判断する必要があります。

●可能な限り在宅避難できる準備を整える

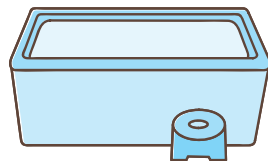
避難所では環境の変化によって体調を崩す人もあり、生活のスペースや公の援助には限りもあります。自宅での居住が継続できる状況であれば在宅避難をしましょう。そのためには事前に準備が不可欠です。



ライフラインの代替品の用意

電気は非常用電源※、ガスはカセットコンロ、電灯は電池式のランタンやヘッドランプ、スマホ用に手動発電式の充電器、水はペットボトルなど、ライフラインの代替品を用意します。

※車種によっては、車両からの電力供給も可能です。



生活用水の確保

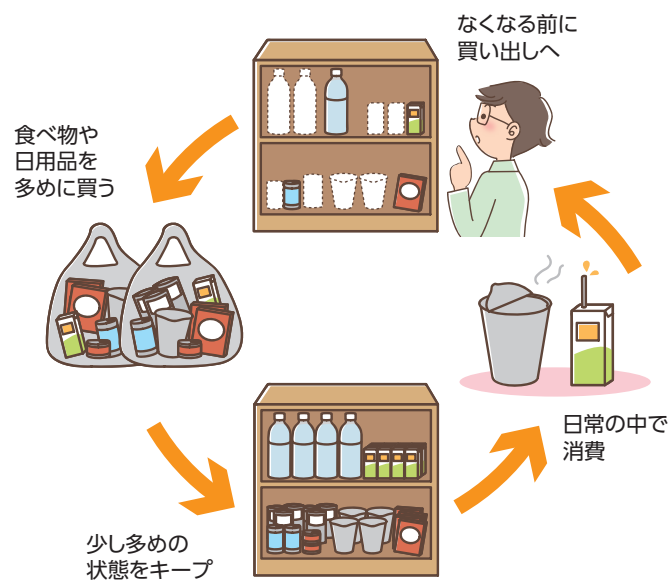
住宅に雨水タンクを設置するほか、お風呂は湧かす時まで残り湯を残しておくなど生活習慣を変えるだけで安定して生活用水を確保することができます。

※下水道の使用にあたっては、自宅の排水設備が破損していないか、道路に下水があふれていないかを確認し、使用できない場合は指定避難所などのトイレを利用します。



住宅の耐震化

南海トラフ地震が起こると犬山市では補強されていないブロック塀が倒れる、耐震性の低い木造住宅は傾いたり倒れたりする被害が想定されます。住宅の耐震化を行い、大きな地震の後でも自宅で暮らせるようにしましょう。



食料品や日用品の日常備蓄(1週間分)

近年では「日常備蓄」として、日ごろから利用する食料品や生活必需品を少し多めに購入・保存し、消費と備蓄を繰り返す「ローリングストック」という考え方が広まっています。

備蓄品リストは → P39へ

⚠ 犬山市の「耐震化支援」

犬山市では、地震に備えて次のような支援制度があります。

- 民間木造住宅の無料耐震診断
- 民間木造住宅耐震改修費補助事業
- 民間木造住宅耐震シェルター整備費補助事業
- ブロック塀等安全対策事業費補助金

問い合わせ 都市計画課 **0568-44-0331**

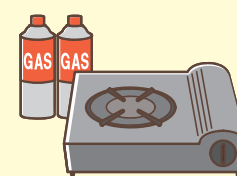


パッキングクッキング

災害が原因となる電気や水道、都市ガスの供給停止は予告なく起こり、いつ復旧するかはわかりません。電気、ガス、水道を使わない調理の一例をご紹介しますので、家族で試しておきましょう。

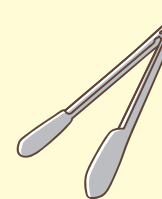


①いざという時に活躍する調理グッズ



カセットコンロとガスボンベ

オール電化の住宅では必ず用意したい必需品。電気やガスが止まっても、温かい食事ができます。



トング

加熱調理したポリ袋を取り出す時に使用します。



キッチンハサミとピーラー

まな板は雑菌がつきやすいので、なるべく使わないようにします。



高密度ポリエチレン袋(厚さ0.02mm以上の食品用)

節水料理や食料の保存、さらに手袋の代用としても幅広く活躍します。

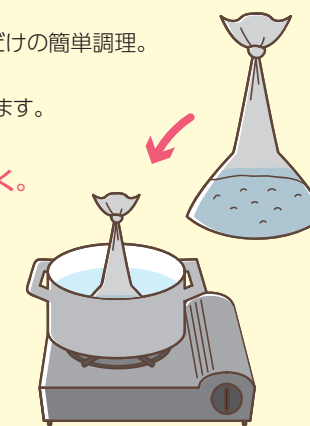
②ポリ袋を使った節水料理

材料をポリ袋に入れ、沸騰したお湯で加熱するだけの簡単調理。一人分ずつをポリ袋で調理し、袋ごと器に盛りつければ器を洗う水も節水できます。

[ごはんを炊く]

- 1 ポリ袋にお米と同量の水(一人分はカップ1/2程度)を入れて30分以上おく。
- 2 鍋にお湯を沸騰させる。
- 3 ポリ袋の中の空気を抜き、袋の口を輪ゴムでしっかりしばる。
- 4 沸騰しているお湯の中に入れ、30分したら火を止めて余熱で10分蒸らす。
- 5 ポリ袋のまま器に入れ、縛った口を切って折り返して食べる。

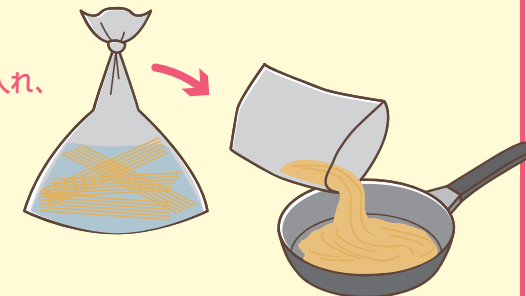
※お米は研がなくても食べられる。
※お米と一緒に缶詰のツナや鯖、ちくわなどをいれれば炊き込みごはんになる。
※ポリ袋に空気が入っていると破裂する危険があるので、空気抜きはしっかり行う。



[パスタをつくる]

- 1 麺を半分に折り、しっかり浸るくらいの水と一緒にポリ袋に入れ、口を縛って1時間ほどおく。
- 2 鍋でお湯を沸かし、沸騰したらポリ袋を入れ、時々かき混ぜながら1〜3分加熱する。
- 3 麺の水気を切り、パスタソースをかけて食べる。

※レトルトのパスタソースやカレーがあれば、麺と一緒に加熱調理すると効率的。



③水洗いができないとき

断水している時は、炊事では少しでも水を使わないようにする工夫が必要です。



使い捨て手袋やポリ袋を使って調理する



炒め物はフライパンにアルミホイルを敷いてから



食器をラップで覆ってから盛りつける



スプーンやお箸はウェットティッシュで拭く



要配慮者利用施設一覧

平成29年、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、「水防法等の一部を改正する法律(平成29年法律第31号)」が施行され、「水防法」及び「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」が改正されました。
法改正により、市町村は地域防災計画において、想定区域内(洪水浸水区域及び土砂災害警戒区域)に位置する要配慮者利用施設の名称及び所在地を定めることとなり、該当する要配慮者利用施設の所有者又は管理者は避難確保計画の作成及び報告、避難訓練の実施及び報告が義務付けられています。

地区	No.	施設名	住所	対象ハザードマップ			
				木	郷	新	土
犬山	1	訪問看護ステーション i m	松本町四丁目29 ソレアード松本B101		○		
	2	サニーライフめいしんれん	松本町四丁目56		○		
	3	宮田眼科	松本町四丁目111		○		
	4	晴日荘 しずく	大字犬山字瑞泉寺14-14	○			
	5	団樂の家 かみの	大字上野字郷1437-12	○		○	
	6	小規模多機能ホーム 花梨かみの	大字上野字郷1437-12	○		○	
	7	上木子ども未来園	上野新町289	○			
	8	犬山中学校	大字木津字宮前15	○			
	9	犬山西児童センター	上坂町四丁目20	○			
	10	多機能型重症児デイサービスももか	上坂町五丁目236	○			
	11	犬山西小学校	上坂町五丁目2	○			
	12	樹クリニック	上坂町五丁目232	○			
	13	ケアプランセンターともいき	橋爪東一丁目 29		○		
	14	あいちせぼね病院	大字五郎丸字上池31-1		○		
	15	総合犬山中央病院	大字五郎丸字ニタ子塚6		○	○	
城東	16	きたはら助産所	大字善師野字細洞9-8				○
	17	訪問看護ステーション今井あんきの家	塔野地北二丁目8		○		
	18	今井あんきの家	塔野地北二丁目8		○		
	19	宅老所・グループホーム今井あんきの家	塔野地北二丁目8		○		
	20	あんきのカンタキ	塔野地北二丁目8		○		
	21	ヘルパーステーションともいき	塔野地北四丁目17-1		○		
	22	デイサービスセンターともいき・塔野地	塔野地北四丁目17-1		○		
	23	マザークリニックハピネス	塔野地西一丁目4-6		○		
	24	ひかり学園	大字前原字橋爪山123				○
	25	ひびき作業所	大字前原字橋爪山14-2				○
	26	特別養護老人ホーム めく森	大字前原字橋爪山15-121				○
	27	グループホームかがやき	前原西三丁目35-2		○		
	28	ふなびきクリニック	大字前原字桜坪29-2			○	
羽黒	29	東部中学校	羽黒朝日六丁目 1		○		
	30	東児童センター	羽黒鉾添二丁目16		○	○	

地区	No.	施設名	住所	対象ハザードマップ			
				木	郷	新	土
羽黒	31	日の出 第2ホーム	大字羽黒字井島1-8		○	○	
	32	居宅介護支援事業所 シンシア	大字羽黒字大見下1-1			○	
	33	かもみいる訪問介護事業所	大字羽黒字古市場156-1 ペルヴィルⅡ10C		○		
	34	羽黒子ども未来園	大字羽黒字古市場57		○		
	35	羽黒小学校	大字羽黒字前川原67		○		
	36	さとう病院	大字羽黒字下大日8-3		○	○	
	37	介護保険センターさとう犬山	大字羽黒字下大日8-3		○	○	
	38	さとうデイサービスセンター犬山	大字羽黒字下大日8-3		○	○	
	39	さとう病院ダイケアセンター	大字羽黒字下大日8-3		○	○	
	40	さとうショートステイ犬山	大字羽黒字下大日8-3		○	○	
桑田	41	特別養護老人ホーム 犬山白寿苑	字洞田30-1				○
池野	42	水平館	字牛岩37-1				○

【対象ハザードマップ】 木…外水ハザードマップ(木曽川) 郷…外水ハザードマップ(郷瀬川・新郷瀬川)
新…外水ハザードマップ(新川流域) 土…土砂災害ハザードマップ

災害用情報サービス一覧

●犬山市が発信するもの

犬山市



犬山市ホームページ 犬山市公式LINE スマホ/PC カメラ付き携帯電話 犬山市あんしんメール 災害時の緊急情報の放送

●その他の情報収集手段

ホームページ



愛知県防災Web 愛知県土砂災害 防災情報 愛知県川の 防災情報 気象庁HP 気象庁(犬山市版) 道路情報 提供システム

アプリ・SNS



Yahoo! 防災速報 中部電力パワーグリッド 停電情報お知らせサービス 愛知県公式LINE NHKニュース防災

備蓄品
リスト

停電、断水、ガスの供給停止など、あらゆるライフラインが止まった場合を想定して準備します。「日常備蓄」を基本に、足りないものを補って備えるようにしましょう。

食品・飲料水

限られた食品で過ごすことを想定し、保存が効く食品での栄養バランスも考えましょう。停電で冷蔵庫が使えないことを考え、常温で長期保存ができるものを中心に組み合わせます。

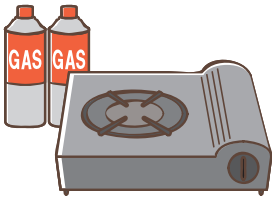
- ☒ 水(飲料用として1人1日3ℓを目安に1週間分)
- ☒ 水(調理用)
- ☒ 主食(白米、アルファ米、レトルトごはん、乾麺類、パスタなど)
- ☒ 主菜(カレーやシチューなどのレトルト食品、ツナなど魚類・コンビーフなど肉類の缶詰など)
- ☒ 汁物・ソース(カップスープ、カップ味噌汁、レトルトソースなど)
- ☒ 加熱しないで食べられるもの(チーズ、ハム、ちくわなど)
- ☒ カップ麺、インスタントラーメン
- ☒ 缶詰(果物、豆類など)
- ☒ 野菜ジュース
- ☒ 菓子類(チョコレート、ナッツ類など)
- ☒ 栄養補助食品(スティックタイプ、ゼリータイプなど)
- ☒ 調味料(醤油、めんつゆ、塩など)



生活用品

大型のビニール袋は給水用、トイレ用などに、ポリ袋は調理や配膳用の手袋など、多用途で使うことを考えましょう。

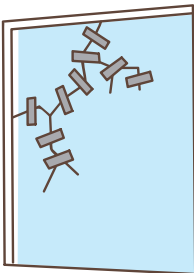
- ☒ 生活用水(風呂の残り湯でも可)
- ☒ 懐中電灯・ランタン、予備電池
- ☒ ろうそく、ライター・マッチ
- ☒ 持病の薬・常備薬
- ☒ ゴミ袋、大型ビニール袋、ポリ袋
- ☒ 密閉できるポリ袋
- ☒ 食品包装用のラップ
- ☒ アルミホイル
- ☒ カセットコンロ・ガスボンベ
- ☒ ラジオ
- ☒ 手動の発電機
- ☒ モバイルバッテリー
- ☒ 使い捨て手袋(素材は、ニトリルやラテックスなど)
- ☒ 簡易トイレ(凝固剤など)
- ☒ ティッシュペーパー
- ☒ トイレトペーパー
- ☒ ウェットティッシュ
- ☒ ペーパータオル
- ☒ 生理用品
- ☒ おむつ、介護用品



修繕・手入れ

窓ガラスが割れたり、屋根や壁などが破損した場合に備えて、雨風をしのげる程度の修繕ができるようにしておきます。

- ☒ ガムテープ、養生テープ
- ☒ ビニールシート
- ☒ ロープ、ビニールテープ
- ☒ 軍手



非常用
持出品
リスト



指定緊急避難場所へ持っていく、当面必要となる最小限の物品を用意しましょう。家族一人に一つずつリュックサックを用意し、玄関の近くやそれぞれの部屋に置いておきます。また、クルマの中や屋外の物置などに置いておくと家屋損壊の場合でも持ち出せます。

大切なもの

メインとなるリュックサックに、家族の大切なものをまとめておきます。ファスナー付きのビニールケースなどに入れておきます。

- ☒ 免許証
- ☒ 健康保険証
- ☒ マイナンバーカード
- ☒ 預金通帳
- ☒ 年金手帳
- ☒ お薬手帳
- ☒ 印鑑
- ☒ 家族の写真

家族一人ひとりが持つもの

- ☒ 現金(公衆電話も使えるように小銭も用意する)
- ☒ 携帯電話、スマートフォン
- ☒ 懐中電灯
- ☒ 飲料水
- ☒ 菓子類(チョコレート、キャンディなど)
- ☒ 栄養補助食品(スティックタイプ、ゼリータイプなど)
- ☒ ホイッスル
- ☒ マスク
- ☒ タオル
- ☒ 軍手
- ☒ 折りたたみ式のレインコート
- ☒ ウェットティッシュ
- ☒ ティッシュペーパー
- ☒ 使い捨てカイロ・冷感タオル
- ☒ 救急セット(キズ用の絆創膏など)

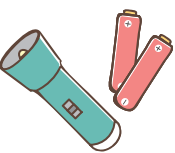
アレルギーを持った方

- ☒ 「緊急時(災害時)のおねがい」カード(アレルギー支援ネットワークのホームページより)
- ☒ 体質に合った非常食
- ☒ 服用している薬、常備薬、市販薬



家族で一揃えあるといいもの

- ☒ 携帯ラジオ
- ☒ 手動で発電できる充電器
- ☒ モバイルバッテリー、電池
- ☒ ライター・マッチ
- ☒ ろうそく
- ☒ 小型ナイフ
- ☒ ブランケット
- ☒ レジャーシート、新聞紙
- ☒ 筆記用具(油性ペン)、メモ帳
- ☒ 簡易トイレ
- ☒ 非常食、カップ麺など
- ☒ 汗拭きシート
- ☒ 生理用品
- ☒ アルコール消毒剤
- ☒ レジ袋・ポリ袋



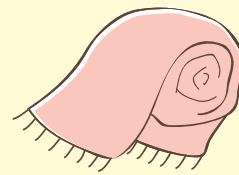
避難時に身につけるもの

- ☒ ヘルメット
- ☒ 歩きやすいフツ
- ☒ 軍手



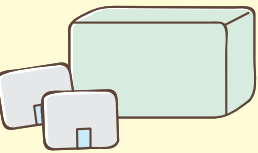
ママバッグは、
予備の1セットを用意

乳幼児のいる家庭では、外出時に使うママバッグと同じ内容でもう1セット用意しておき、交互に使って常に補充するようにしましょう。ママバッグの内容(母子健康手帳、ほ乳瓶、ミルク、おむつ、おもちゃ、着替え、ウェットティッシュ、使い捨て手袋など)



ハンカチ、ストールは
大判で

ハンカチやストールは大判をママバッグに。避難時に粉じんの汚れを防いだり、マスク、包帯、三角巾、日よけなどの代わりとして使えます。特に大判ストールはブランケットや避難所の間仕切りや目隠しにも使え便利です。



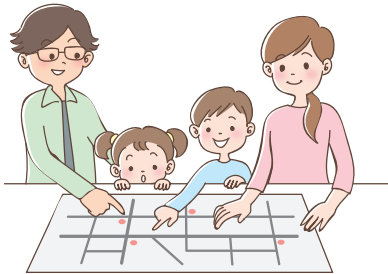
生理用品は1周期分、
余分に買っておく

被災時はストレスで生理不順になることもあり、いつものストックにもう1周期分を足しておくのが安心です。また、非常持出袋に携帯用ビデを用意しておくといいでしょう。

大雨洪水
災害避難
カード



P19～20、風水害の「逃げ時判断」ではまとめきれなかった、自宅を中心としたエリアで想定される最大被害をまとめます。水害の危険度から避難の必要性を考えましょう。



外水・内水ハザードマップ、指定緊急避難場所／指定避難所一覧表を用意します。

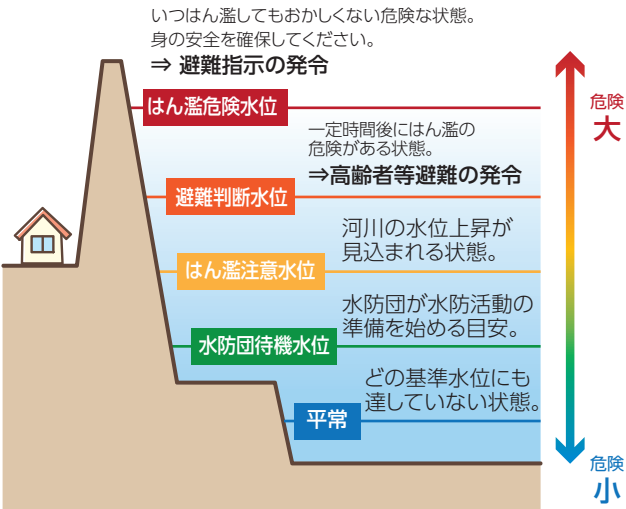
大雨洪水 災害避難カード

	作成日	年	月	日
自宅の階数と構造	()階	木造・コンクリート造・()		
洪水浸水想定(木曽川、郷瀬川、新郷瀬川)	()m	～	()m	
雨水による冠水・浸水等	あり	・	なし	
避難マップ	→ P42	できている	・	できていない
避難経路の危険度	高い	・	やや高い	・ やや低い
			・	低い
				・ なし

近くの川の決壊が懸念される時に、
避難行動の目安となる水位

河川名	木曽川	郷瀬川	新郷瀬川
はん濫等による 自宅の浸水深	m	m	m
はん濫危険水位	12.20m	(3.50)m	(2.98)m
避難判断水位	11.60m	―――	―――
はん濫注意水位	9.20m	(2.00)m	(2.00)m

()は基準水位ではないが、参考値としての水位。
※郷瀬川、新郷瀬川の避難判断の目安となる水位については今後愛知県により
設定される予定です。

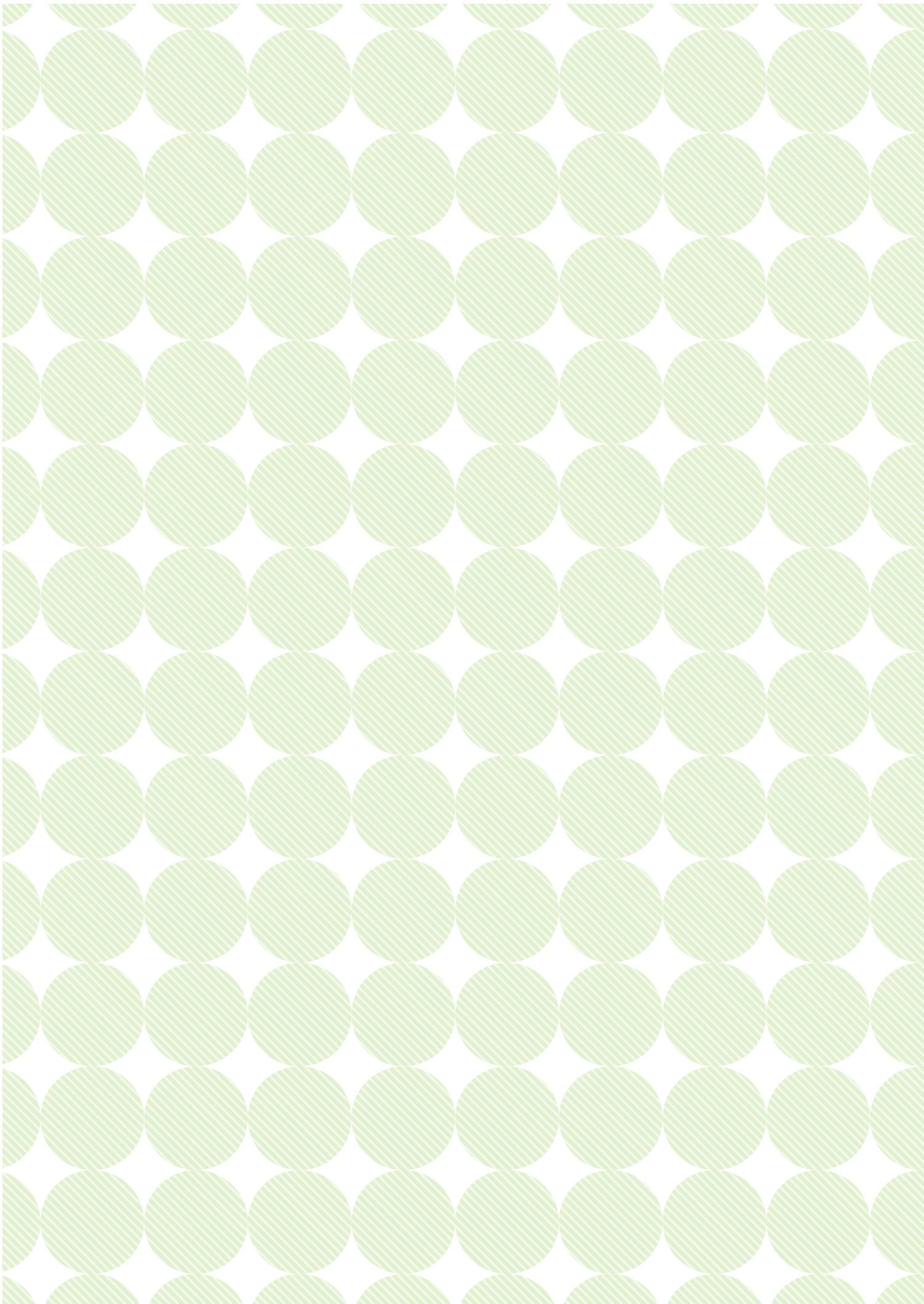


水位の取得方法

テレビdボタン	NHK、メーテレ 2局が利用可能
WEB(ライブカメラ)	愛知県または、国土交通省の「川の防災情報」から利用可能。「川の防災情報」で検索

避難行動の留意点

- ☒ まわりで浸水が始まっている場合や逃げ遅れた場合は、無理に外へ避難せず上層階などの安全な場所へ移動してください。(垂直避難)
- ☒ 堤防近くにお住まいの方は、堤防が壊れた場合に家屋が浸水し倒壊する可能性がありますので早めに避難してください。



避難マップ をつくる



自宅から最寄りの「指定緊急避難場所」を確認。
実際に家族で歩いてみて、避難場所までの安全
な最短経路を話し合って確認し、地図に書き込
みます。



書き込む内容

※このページに書き込んだら、コピー
して家族の掲示板など目に付くと
ころに貼り付けておきましょう。

- ☒ 「指定緊急避難場所」の名前
地震の場合()
風水害の場合()
☒ 自宅から「指定緊急避難場所」までの経路
☒ 所要時間の目安
☒ 川や用水、側溝の場所
- ☒ 避難経路で水たまりになりやすい場所
☒ 崖など土砂災害のおそれがある場所
☒ ブロック塀などの危険箇所
☒ 過去に発生した災害の位置や状況
☒ 家族がバラバラに避難する場合の
集合場所、連絡先、連絡方法

地震

風水害

土砂災害

避難と避難生活

日ごろから
準備したいこと